機械設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　工事名称　新座市栄公民館長寿命化改修工事
2　工事場所　埼玉県新座市新塚一丁目４番２号
3　工　期　契約日の翌日から　令和　8年　3月　31日
　　現場施工期間　令和　年　月　日から　令和　年　月　日
　　現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
4　建物概要

	建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
①	新座市栄公民館	RC造	3階	819.345	(1)項ロ	
②						
③						
④						
⑤						

5　工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別 ①	②	③	④	⑤	屋外
● 空気調和設備	一式					
● 換気設備	一式					
○ 排煙設備						
○ 自動制御設備						
● 衛生器具設備	一式					
● 給水設備	一式					一式
● 排水設備	一式					一式
● 給湯設備	一式					
○ 消火設備						
● 厨房機器設備	一式					
● ガス設備	一式					一式

6　指定部分　※無　・有
　　対象部分：　　工期：令和　年　月　日

7　主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
　1　専任期間の始期
　　請負契約締結の日から、⊙現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　年　月　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　2　専任期間の終期
　　工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　3　専任期間の中断
　　自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8　工事範囲　図示のとおり

9　機械設備工事概要
　長寿命化改修工事に伴い、下記工事を行う。
　・空調設備：既設室内機及びリモコンの撤去・再取り付けを行う。（一部別途工事あり）
　・換気設備：既存換気扇を撤去新設し、現在換気扇の無い居室に換気扇を新設する。
　・衛生設備：既存衛生器具を撤去新設する。
　・給水設備：既存受水槽、給水管を撤去し、増圧ポンプユニット方式へ更新する。
　・排水設備：既存排水管の撤去を行い、排水管を新設する。

埼玉県環境配慮方針の適用項目（12）（該当項目数：　）
・長寿命機材の選定（2－3－③）　・設備更新を踏まえた計画（2－3－④） ・再生品の優先使用（2－3－⑥）・有害物質の放散量が少ない材料の使用（2－4－②） ・発生材の再資源化を推進（3－1－⑥）・フロン等の回収、破壊を行う（4－1－①） ・代替フロンの使用抑制（4－1－②）　・新冷媒の採用（4－1－③） ・太陽熱利用システムの導入（5－1－②）　・高効率熱源の採用（5－2－②） ・ゾーニングの工夫（5－3－①）・外気冷房制御の導入（5－3－②） ・搬送動力の低減（5－3－③）　・ヒートポンプの採用（5－3－④） ・熱回収システムの導入（5－3－⑤）　・コージェネレーションの導入（5－4－①） ・節水機器の採用（6－1－①）・雨水利用（6-1-③）　・排水再利用（6-1-④） ・アスコン廃材の再利用（6-3-②）　・再生塩ビ管の採用（6-3-③）

10　電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11　同時期発注の関連工事
　⊙建築工事　⊙電気設備工事

Ⅱ　工事仕様

1　共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
　なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2　特記仕様
（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、⊙印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
　⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
●一般共通事項	① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、ｱﾊﾞｽﾄ含有の有無を確認し、ｱﾊﾞｽﾄを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
	② 電気保安技術者	・置く　※置かない
	③ 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
	④ 技能士の適用	⊙配管施工（配管工事）　・建築板金施工（風道制作及び取付け） ⊙熱絶縁施工（保温工事）・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
	⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。
	6 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　）　※設けない
	⑦ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。
	⑧ 工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。
	⑨ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが　※できる　・できない
	⑩ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。　・本工事とする。
	⑪ 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ⊙構外搬出適切処理する。
	⑫ 埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類
	⑬ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、・使用できる。　※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
	⑭ 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は　※本工事　・別途） （1）引渡しを要するもの（　　） （2）買取処分をするもの（　　） （3）再生資源化を図るもの（・硬質塩化ビニル管　・　　） （4）特別管理産業廃棄物（　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。
	⑮ 容量等の表示	（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	⑯ 配管	（1）地中埋設配管（排水管を除く） 1）地中埋設標（コンクリート製）　※要（図示の箇所）　・不要 2）地中埋設鋲（キャッツアイ）　※要（舗装部の分岐、曲部）・不要 3）埋設表示テープ（2倍折込み）　※要　・不要
	⑰ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K_H及び設計用鉛直震度K_V（K_H／2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度 設置場所 ＼ 耐震安全性の分類：特定の施設 重要機器 / 特定の施設 一般機器 / 一般の施設 重要機器 / 一般の施設 一般機器 上層階 屋上及び塔屋：2.0 / 1.5 / 1.5 / 1.0 （2.0）/（2.0）/（2.0）/（1.5） 〈2.0〉/〈1.5〉/〈1.5〉/ 1.0 中間階：1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6 （1.5）/（1.5）/（1.5）/（1.0） 〈1.5〉/〈1.0〉/〈1.0〉/〈0.6〉 1階及び地下階：1.0 / 0.6 / 0.6 / 0.4 （1.0）/（1.0）/（1.0）/（0.6） 〈1.5〉/〈1.0〉/〈1.0〉/〈0.6〉 （注）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 〈　〉内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階。 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。 給水装置　排水装置　換気機器　空調機器　熱源機器 防災設備　監視制御設備　危険物貯蔵装置 火を使用する設備　避難経路上に設置する機器
	17-1 あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。
●一般共通事項特記事項（続き）	⑱ 防露保温工事	標準仕様書第２編によるほか下記による。 空気調和設備工事の保温の種別 区分 / 施工箇所 / 保温種別 ドレン管 / 屋内露出（一般居室、廊下） / a1・（ハ）・Ⅶ 機械室、書庫、倉庫 / b ・（ハ）・Ⅶ 天井内、ＰＳ内及び空隙壁中 / c2・（ロ）・Ⅶ 浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / e3・（ハ）・Ⅶ 蒸気管 / 屋内露出（一般居室、廊下） / A1・（イ）・Ⅱ 機械室、書庫、倉庫 / B ・（イ）・Ⅱ 天井内、ＰＳ内及び空隙壁中 / C2・（ロ）・Ⅱ 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） / D ・（ロ）・Ⅱ 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / E3・（イ）・Ⅱ 冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからポイラー等への補給水管を含む。） / 屋内露出（一般居室、廊下） / A1・（ハ）・Ⅲ 機械室、書庫、倉庫 / B ・（ハ）・Ⅲ 天井内、ＰＳ内及び空隙壁中 / C1・（イ）・Ⅲ 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） / D ・（ハ）・Ⅲ 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / E3・（ハ）・Ⅲ 温水管（膨張管を含む。） / 屋内露出（一般居室、廊下） / A1・（イ）・Ⅰ 機械室、書庫、倉庫 / B ・（イ）・Ⅰ 天井内、ＰＳ内及び空隙壁中 / C2・（ロ）・Ⅰ 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） / D ・（ロ）・Ⅰ 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / E3・（イ）・Ⅰ （注）1．冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部　※保温化粧カバー（※樹脂製　・亜鉛メッキ鋼板製　・ＳＵＳ製） 屋外露出部　※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング　・ＳＵＳラッキング ・保温化粧カバー（※樹脂製　・亜鉛メッキ鋼板製　・ＳＵＳ製） 2．施工種別Ｂの材料及び施工順序４、５に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 3．機器類の保温材の種別は、（※グラスウール保温材　・ロックウール保温材）とする。 ダクトの保温の種別 区分 / 施工箇所 / 保温種別 長方形ダクト / 屋内露出（一般居室、廊下） / J1・（イ）・XⅠ 屋内露出（機械室、書庫、倉庫） / I ・（イ）・XⅠ 屋内隠ぺい、ＤＳ内 / I ・（ロ）・XⅠ 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / K3・（イ）・XⅠ 円形ダクト / 屋内露出（一般居室、廊下） / O1・（イ）・XⅠ 屋内露出（機械室、書庫、倉庫） / N ・（イ）・XⅠ 屋内隠ぺい、ＤＳ内 / N ・（ロ）・XⅠ 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / P3・（イ）・XⅠ 消音内貼り / サプライチャンバー / M ・（ロ）・Ⅸ 消音チャンバー・消音エルボ / L ・（ロ）・Ⅶ 給排水衛生設備工事の保温の種別 区分 / 施工箇所 / 保温種別 給水管 / 屋内露出（一般居室、廊下） / a1・（ハ）・Ⅶ 機械室、書庫、倉庫 / b ・（ハ）・Ⅶ 天井内 / c2・（ロ）・Ⅶ ＰＳ内及び空隙壁中 / ― 倉庫住宅ＰＳ内 / c2・（ハ）・Ⅶ 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） / ― 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / e3・（ハ）・Ⅶ 排水及び通気管 / 屋内露出（一般居室、廊下） / ― 機械室、書庫、倉庫 / ― 天井内 / c2・（ロ）・Ⅶ ＰＳ及び空隙壁中 / ― 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / e3・（ハ）・Ⅶ 給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからポイラー等への補給水管を含む。） / 屋内露出（一般居室、廊下） / a1・（イ）・Ⅰ 機械室、書庫、倉庫 / b ・（イ）・Ⅰ 天井内 / c2・（ロ）・Ⅰ ＰＳ内及び空隙壁中 / d ・（ロ）・Ⅰ 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。） / e3・（イ）・Ⅰ （注）1．消火、排水及び通気管のうち見えかくり部は塗装を施す。 2．排水管の管種が耐火二層管、耐火ＶＰの場合は、保温を要しない。 3．施工種別ｂの材料及び施工順序３、４に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 4．機器類の保温材の種別は、（※グラスウール　・ロックウール）とする。 5．消火管屋外露出部保温仕様は、e3・（ハ）・Ⅶとする。 6．便所内露出ＳＵＳ管及び流し内露出ＳＵＳ管は保温を要しない。 7．空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工面にからず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてＦ☆☆☆☆とする。 ・屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ※図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚さを40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。
	19 防凍保温	
	⑳ 塗装	下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫　・ 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出　※多湿箇所　屋内露出（※見えかくり部　・　　）
	㉑ 電線	特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。
●一般事項（続き）	㉒ はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてＸ線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
	㉓ 管の埋設深さ	（1）公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 （2）構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで６００mmとする。 （3）その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。
	㉔ 既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
	㉕ 絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分　※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※５０Ａ以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ　・全て絶縁フランジ
	26 天井仕上げ区分	（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	㉗ 他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
	㉘ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
	㉙ 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後１４日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
	㉚ 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
	㉛ 墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない
	32 誘導電動機	三相誘導電動機はＪＩＳ Ｃ ４２１３（ＩＥ３）トップランナーモーターとする。
	㉝ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン　※適用する　・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、Ａ３二つ折り製本４部とする。
	㉞ その他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
●改修一般事項（付加事項）	① 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
	② 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 （1）内部足場　※　脚立足場　・枠組足場　・ （2）外部足場　※Ａ種(枠組足場)　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
	③ 既存部分養生・既存家具等養生	（1）関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（2）による。） （2）本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート　・合板　・
	④ 備品等の移動	・別途工事　・本工事　※接続配管等の取外し、接続は本工事
	5 仮設間仕切り	（1）関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（2）による。） （2）本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※Ａ種　単管下地全面シート張り　・
	⑥ 撤去後機材の扱い	（1）改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 （2）撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。
	⑦ 支持金物の再使用	（1）インサート金物　・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる　※新品 （2）形鋼支持金物等　・再使用できる　※新品
	⑧ あと施工アンカーの種別	金属拡張アンカーは接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
	⑨ フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入　・フロン再生後引き渡し　・未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。
	⑩ 総合調整	・全体再調整　※改修部及び影響部のみ調整
	⑪ 既設基礎類の解体はつり	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
	12 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。
	⑬ その他	（1）図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ1版とした縮尺とする。 （2）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように絵密に打合せを行うこと。

発注者	作成 2025.3	管理	照査	設計	担当	名称 新座市立栄公民館長寿命化改修工事	図面NO
新座市	発行　年　月　日					特記仕様書（1） 縮尺 －	M-01

（3）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

（4）ＦＦ式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について
　ＦＦ式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

●空気調和設備

①設計温湿度

	外　気		屋　内					
			一般系統					
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。

②総合試運転調整

・本工事　※別途

風量調整	※する　・しない
水量調整	・する　※しない
騒音の測定	・する　※しない
室内外空気の温湿度の測定	※する　・しない
室内気流及びじんあいの測定	・する　※しない
初期運転状態の記録	※する　・しない
工事対象範囲の既設機器運転状態の記録	・する　※しない

3 煙　道
（1）鉄板厚　（※３．２mm　・４．５mm　）
（2）ばい煙濃度計　※設ける　・設けない
（3）ばいじん量測定口　※設ける（測定口は８０Φとする）・設けない

4 煙　突
※別途　・本工事

5 長方形ダクト
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
　長辺の長さ１５００mm以下　※共板工法　・スライドオンフランジ工法
　　　　　　　　　　　　　　・アングルフランジ工法
　それ以外の部分　※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製）　・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）

6 円形ダクト
※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製　・ステンレス製）　・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・換気用耐火二層管（大臣認定品）　※フレキシブルダクト（・保温付　・保温無）
(注)１　使用区分は図示による。

7 風量測定口
　取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
　送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト

8 チャンバー
（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバ及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。
　・３００×３００　・３００×５００　※４００×６００　・５５０×７５０
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

9 吹出口及び吸込口ボックス
※亜鉛鉄板製　・グラスウール製

10 ダンパー
（1）防煙ダンパー　　復帰方式（※遠隔　・　　）定格入力ＤＣ24Ｖ，0.7Ａ以下
（2）ピストンダンパー　復帰方式（※遠隔　・　　）

⑪配管材料
（1）冷温水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（2）冷却水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（3）ブライン管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（4）冷媒管　　　※断熱材被覆銅管
　　（保温厚mm　ガス管　※20以上　・10以上　液管　・20以上　※10以上）
　　ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。
（5）ドレン管（屋外）　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管ＶＰ
　　ドレン管（屋内）　※保温機能付空調用ドレン管（ｴｽﾛﾝACﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟ相当品）
　　　　　　　　　　　・耐火二層管ＶＰ（ＦＤＰＳ－１）
　　　　　　　　　　　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管ＶＰ
　（消防協議事項：　　　　　　　　　　　）
　ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧１ｍを超える配管には使用しない。
（6）油管　　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（7）蒸気管　給気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
　　　　　　還　管　※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40　・ステンレス鋼管
（8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
　　　　　　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・

12 弁　類
　規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。

13 温度計
　取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共)　※空気調和機の冷温水管(出入口共)
※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レタンダクト、
　　　　　　　　　　外気取入ダクト及びレタンチャンバー
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管　※熱交換器の温水管（出入口）　・

14 圧力計
　取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共）
※空気調和機の冷温水管（出入口共）
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管　※熱交換器の温水管（出入口）　・

15 瞬間流量計
　瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※１個　・　個）付属とする。
・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形　・着脱形）を設ける。
・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形　・着脱形）を設ける。

16 油面制御装置
※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形　・着脱形）を設ける。
　制御盤には（※給油ポンプ制御　※満減油警報　・遠隔警報　・電磁弁制御
　　・・返油ポンプ制御　）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。

17 冷却塔
※直交流式　・向流型
※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置　※自動ブロー装置　・
補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。

18 空気熱源ヒートポンプ空調機
　標準仕様書によるほか下記による。
（1）圧縮機原動機の制御方式　※回転数制御　・オンオフ制御
（2）冷媒　ＨＦＣ（ Ｒ４１０Ａ、Ｒ３２又はＲ４０７Ｃ ）
　（注1）Ｒ４１０Ａを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。
　（注2）Ｒ３２を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。
（3）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。

●換気設備

①長方形ダクト
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
　長辺の長さ１５００mm以下　※共板工法　・スライドオンフランジ工法
　　　　　　　　　　　　　　・アングルフランジ工法
　それ以外の部分　※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製）　・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分　※Ｂ区分）

2 円形ダクト
※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製　・ステンレス製）　・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・耐火二層換気管又は耐火ＶＰ　※フレキシブルダクト（・保温付　・保温無）
(注)１　使用区分は図示による。

3 風量測定口
　取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
　送風機吐出ダクト又は吸込ダクト，外気取入ダクト

4 チャンバー
（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。
　・３００×３００　・３００×５００　※４００×６００　・５５０×７５０
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

5 ダンパー
（1）防煙ダンパー　　復帰方式（※遠隔　・　　）定格入力ＤＣ24Ｖ，0.7Ａ以下
（2）ピストンダンパー　復帰方式（※遠隔　・　　）

6 多湿箇所の排気ダクト
（1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
　（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火ＶＰ）を使用できる。
　※浴室（シャワー室、脱衣室を含む）　・
（2）水抜き管は（※厨房、浴室　※結露水が滞留する部分　・　　　）の排気ダクトには設ける

7 保　温
　下記のダクトの保温を行う。
※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト
　仕様はＮ・（ロ）・ＸＩとする。
　保温施工範囲は、給気用ＯＡダクトは全て、また、排気用ＥＡダクトは外壁より１ｍの部分とする。
※（※厨房　・湯沸室　・　　）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はｈ・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）

⑧試運転調整

風量調整	※する　・しない
風量測定	※する　・しない
騒音の測定	・する　※しない

○排煙設備

1 ダクト
※亜鉛鉄板　・

2 排煙口の形式
※天井取付（・スリット形　※スイング形）
・壁取付　（・スリット形　・スイング形）

3 排煙口手動開放装置
開放及び復帰方式　※ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）

4 排煙風量測定
建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。

○自動制御

1 中央監視制御装置
・有り　※無し

2 構成・機能
図示による

3 電気計装用機材
　使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線またはＥＭケーブルとする。
　屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
　天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

●衛生器具設備

1 小便器用節水装置
JIS B 2026（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。

②バリアフリー対応
・小便器　※全部ストール形　・一部ストール形
　　　　　手すり（・本工事　※別途工事）
・洗面器　※自動水栓（・全部　※一部）　・レバー式水栓（一部）
・シャワー　※サーモスタット式　・ミキシング式
　　　　　※スライドバー　・フック　※止水機能付節水形シャワーヘッド
・鏡　　　※６００×８００（耐食鏡）　・傾斜鏡（・照明無　・照明付）

③衛生器具付属水栓
（1）器具付属止水栓は　※ドライバー式　・ハンドル式
（2）水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。

④自動水栓類の電源
※ＡＣ１００Ｖ　・乾電池等　・自己発電

⑤暖房便座
（1）JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。
（2）機能種別　※温水洗浄　※脱臭　・温風乾燥　・トイレ室内暖房
（3）温水洗浄加熱方式　※瞬間式　・貯湯式
（4）使用流体は、飲料用水道水とする。
（5）リモコン　・ＡＣ１００Ｖ　・乾電池等　※自己発電

⑥大便器洗浄弁・洗浄用タンク
　器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。
・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式）
・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。

7 大便器耐火カバー
※設ける（ピット内は除く）　・設けない

⑧掃除流し
※共栓なしとする。　・共栓付とする。

⑨排水器具用ｺﾞﾑ継手
※使用できる　・使用できない

10 標記板
　大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。

⑪水せっけん入れ
　せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。

⑫擬音装置
・女子用トイレブースに設置する。（※本工事　・別途工事）
・男子用トイレブースに設置する。（※本工事　・別途工事）
・多目的トイレブースに設置する。（※本工事　・別途工事）

⑬その他
　衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。

●給水設備

①配管材料
　配管材料は　※下記　・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）　による。

	施工箇所	管種別
上水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ ・ポリブテン管
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	保温をしない屋外露出部	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ
	地中埋設部（水道直結部分）	・ＨＩＶＰ　・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	地中埋設部（一般部分）	※ＨＩＶＰ　・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	県営住宅　住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）
	便所天井内、ＰＳ内（注5）	※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上）
	便所天井内	※ポリブテン管（１０mm保温付）
	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
	その他の部分	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
中水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	湿潤シンダー内配管	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	保温をしない屋外露出部	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ
	地中埋設部（一般部分）	※ＨＩＶＰ　・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	便所天井内、ＰＳ内（注5）	※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上）
	便所天井内	※ポリブテン管（１０mm保温付）
	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
	その他の部分	※ＳＵＳ　・ＳＧＰ－ＰＤ　・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管

(注)１．ＳＵＳとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮　・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｽ ※拡管）便所・廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。
２．ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。
３．飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。
４．建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用桝を設ける。
５．口径２５Ａにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。
６．高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（ＰＥ１００）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。

2 一体形タンク
　一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。

③水　栓
※給湯用水栓を除き大きさの呼び１３の水栓は、節水コマとする。
・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。

4 量水器
※親メーター（※貸与品　・　　）　・子メーター（※買い取り・　　）

5 量水器桝
※水道事業者指定品　・標準図ＭＣ形

⑥弁　類
　規格はＪＩＳ又はＪＶとし、水道直結部分は１０Ｋとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び標準仕様書による。

7 水栓柱
・防寒コンクリート水栓柱（１２００Ｌ）　※不凍給水栓

⑧建物導入部配管
図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））

9 検針方法
　水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。

１０ 水道利用加入金
　水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。

１１ 本管取出し
　水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。

●排水設備

①配管材料
　配管材料は　・下記　※図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）　による。

	施工箇所	管種別
雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ
	厨房等の温排水	※ＳＧＰ（白）・
	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・ＳＧＰ（白）
	その他の部分	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・排水用ﾉﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管
	その他の部分	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
共通	地中埋設部	※ＲＳ－ＶＵ又はリサイクルＶＵ　・ＶＵ ・卵形管（ゴム輪接合） ※ＲＥＰ－ＶＵ(軽荷重の場合) ・ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ　・ＶＰ
通気配管	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・ＳＧＰ（白）
	その他の部分	※リサイクルＶＰ又はＲＦ－ＶＰ　・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

（注）１．リサイクルＶＰ、リサイクルＶＵはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第２編２．１．２．６による。
２．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。
３．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はＹ４５度で行う。

②洗面器等の排水管
　洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。

③満水試験継手
　３階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。
※掃除口付きソケット　・満水試験用掃除口ソケット

④桝の適用
　別紙桝表による。

●給湯設備

①配管材料
・露出部　Ｍ銅管　その他　保温付被覆銅管（Ｍ銅管）
・一般配管用ステンレス鋼管
・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）

②絶縁フランジ
　取付部は下記による。
※鋼管と銅管及びこれに類する部分
※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分

③弁　類
（1）規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示による。
（2）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。

④ガス瞬間湯沸器
※屋外設置の潜熱回収型　・PS扉内設置の潜熱回収型

⑤電気給湯器
飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。

○消火設備

1 配管材料
屋内消火栓用　一般配管※ＳＧＰ（白）　・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
　　　　　　　地中埋設※ＳＧＰ－ＶＳ　・ＨＩＶＰ
　　　　　　　　　　　・高密度ポリエチレン管（消火用）
消火用　　　　一般配管※ＳＧＰ（白）　・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
　　　　　　　地中埋設※ＳＧＰ－ＶＳ　・ＨＩＶＰ
　　　　　　　　　　　・高密度ポリエチレン管（消火用）
不活性ガス消火用　※ＳＴＰＧ370（白）Sch40　・ＳＴＰＧ370（白）Sch80

2 建物導入部配管
　図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ））

●ガス設備

①配管材料
(・)都市ガス　ガス事業者の供給規定による。埋設配管はＰＥ管を原則とする。
・液化石油ガス　一般配管　※ 合成樹脂被覆鋼管　・ ＳＧＰ（白）
　　　　　　　　地中埋設　※ ＰＥ管　・

②ガス漏れ警報遮断装置
　漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

3 液化石油ガスの供給権
　ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

●厨房設備

①厨房機器の固定
　原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。

②シンク用水栓
※レバー式泡沫水栓　・自動水栓

③安全装置の機能の適用
標準仕様書第5編１・６・１の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第２条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
　・種類及び処理量　汚泥（油分を含む汚泥）　．　m3
　・中間処理施設　　市　　地内、（株）
　・処理方法　　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
　　　　　　　　・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
２　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第３条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

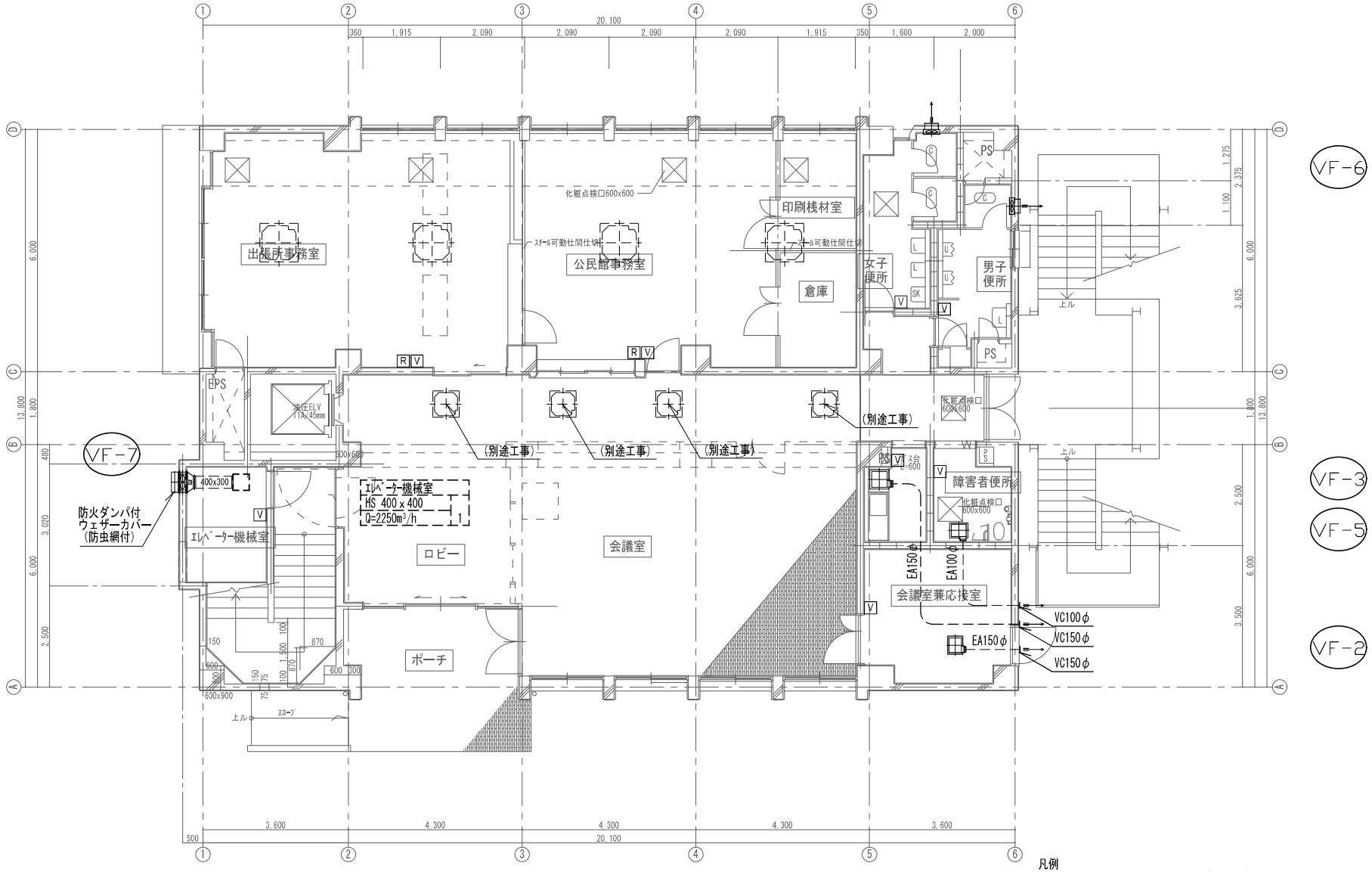
第４条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第2項及び第3項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２　受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第５条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

発注者	作成	発行	管理	照査	設計	担当	名称	縮尺	図面NO
新座市	2025.3	年　月　日					新座市立栄公民館長寿命化改修工事 特記仕様書（2）	－	M-02

換気設備　機器表

機器番号	機器名称	仕様				台数	設置場所		備考
			V	W	起動方式		階	室名	(参考型番)
VF-1	小型ファンユニット	型式：チャンバー内蔵形、天吊形	100	300		1	3	倉庫天井内（2F実習室）	TFD1-40LL
		風量：1380m3/h　　静圧：20mm							
VF-2	天井扇	風量：480m3/h　　静圧：6mm	100	101		1	1	会議室兼応接室	V-23ZS3
		付属品：150φ低圧損型アルミ製ベントキャップ				6	2,3	会議室	
VF-3	天井扇	風量：560m3/h　　静圧：6mm	100	125		3	1,2,3	湯沸室	V-23Z
		付属品：150φ低圧損型アルミ製ベントキャップ							
VF-4	天井扇	風量：240m3/h　　静圧：2mm	100	46		1	2	書庫	V-18ZS
		付属品：150φ低圧損型アルミ製ベントキャップ							
VF-5	天井扇	風量：90m3/h　　静圧：3mm	100	17		3	1,2,3	障害者便所	V-15ZS
		付属品：100φ低圧損型アルミ製ベントキャップ							
VF-6	換気扇	型式：電気シャッター式	100	25		3	1,2,3	男子便所	V-20EH
		羽根径：200φ　風量：520m3/h				3	1,2,3	女子便所	
		付属品：木枠ウェザーカバー（アルミ）							
VF-7	有圧換気扇	型式：低騒音形	100	50		1	1	エレベーター機械室	QH-40BSC
		羽根径：400φ　風量：2250m3/h							
		付属品：温度スイッチ、風圧式シャッター、FD付ウェザーカバー							

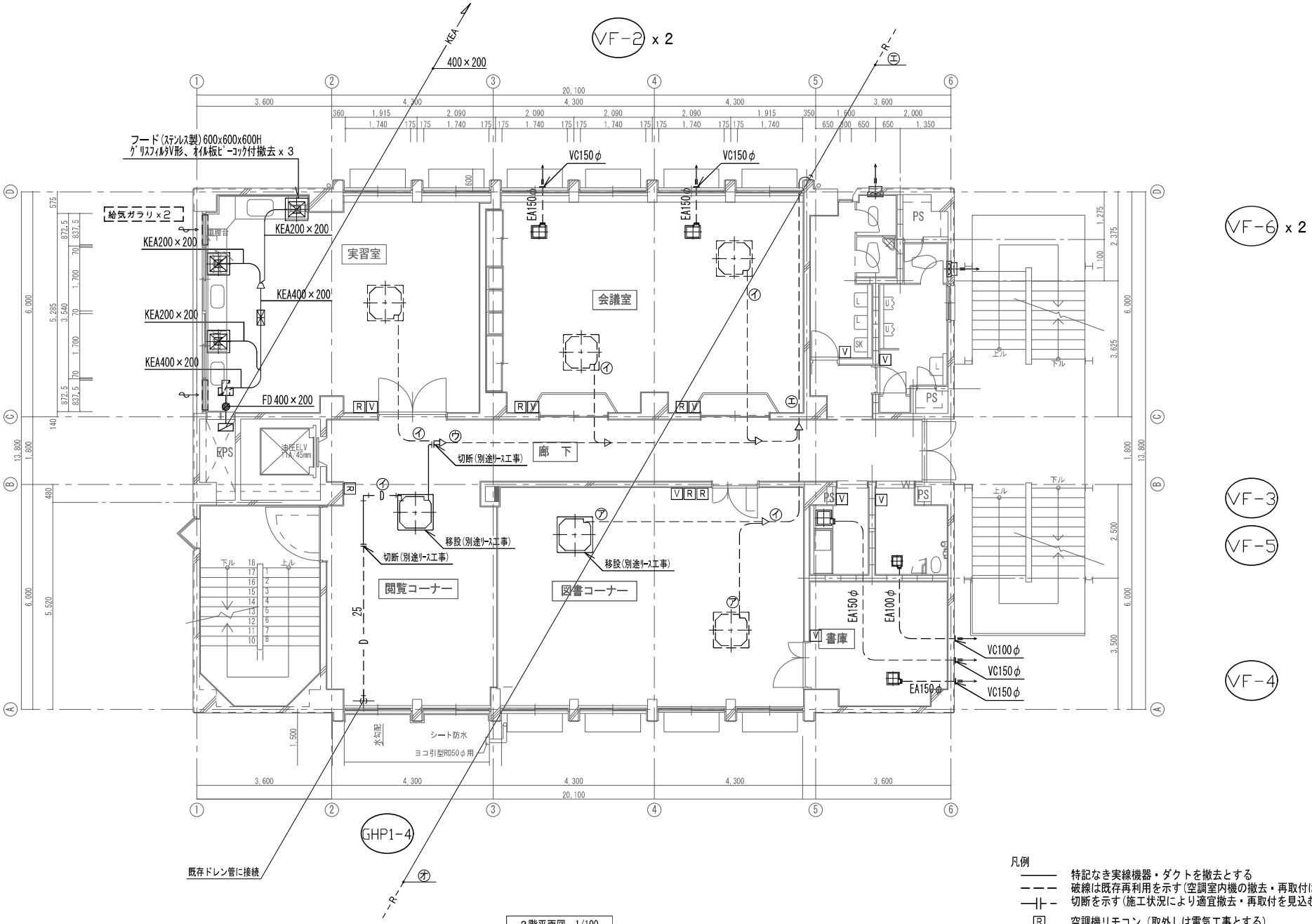


凡例

- 特記なき実線機器・ダクトを撤去とする
- 破線は既存再利用を示す(空調室内機の撤去・再取付は本工事とする)
- 切断を示す(施工状況により適宜撤去・再取付を見込む)
- R 空調機リモコン（取外しは電気工事とする）
- V 換気機器リモコン（取外しは電気工事とする）

1階平面図 1/100

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-04
	発行 年 月 日					空調換気設備 1階平面図（撤去） 縮尺 1/100	



実習室	
VHS 400 x 200	
Q=400m³/h	1

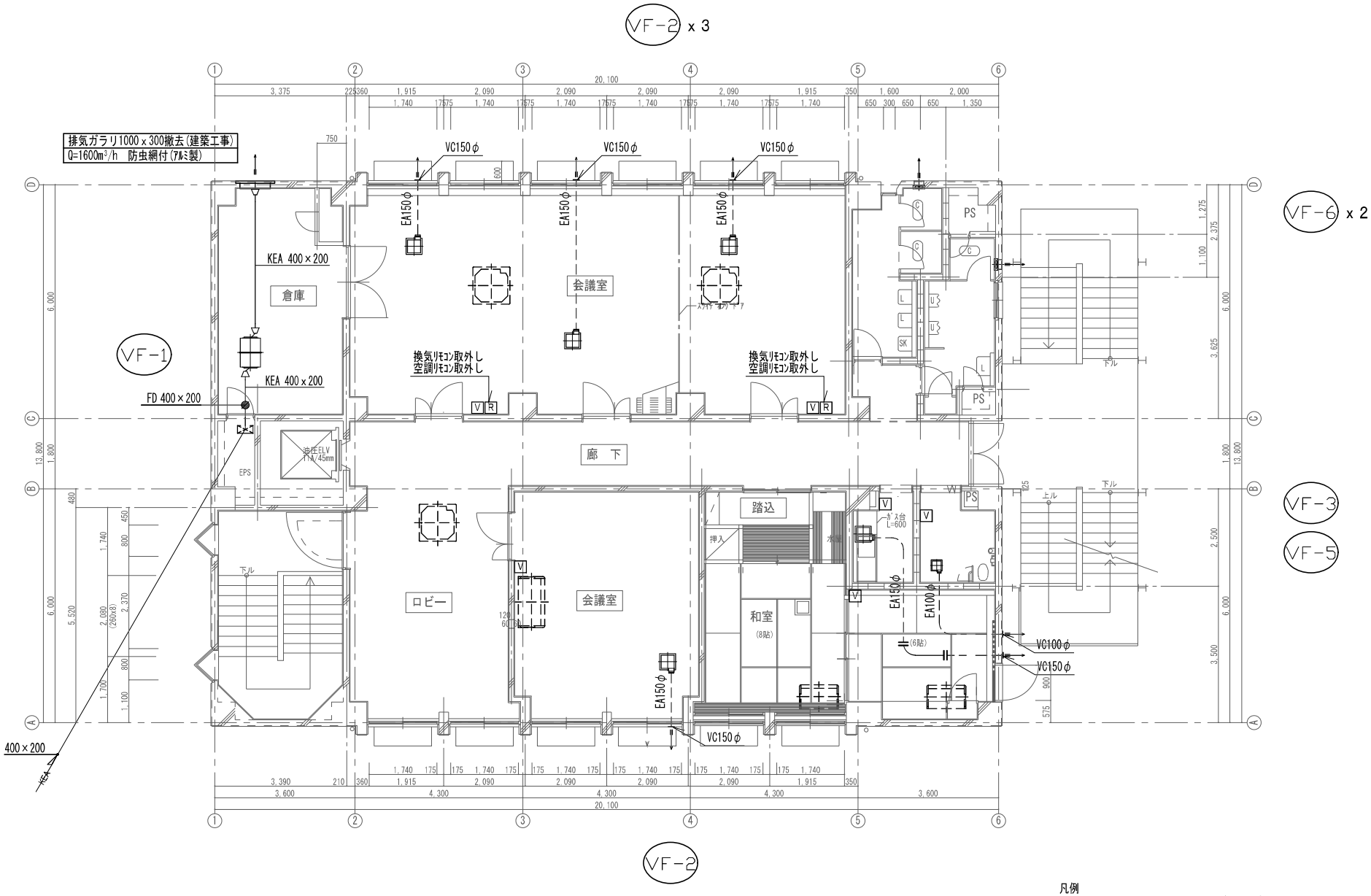
冷媒管サイズ	
記号	ガス管×液管
㋐	12.7φ×6.4φ
㋑	15.9φ×9.5φ
㋒	22.2φ×9.5φ
㋓	28.6φ×15.9φ
㋔	31.8φ×19.1φ

凡例

- 特記なき実線機器・ダクトを撤去とする
- 破線は既存再利用を示す(空調室内機の撤去・再取付は本工事とする)
- 切断を示す(施工状況により適宜撤去・再取付を見込む)
- R 空調機リモコン（取外しは電気工事とする）
- V 換気機器リモコン（取外しは電気工事とする）

２階平面図　1/100

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-05
	発行　年　月　日					空調換気設備　２階平面図（撤去）　縮尺 1/100	



凡例

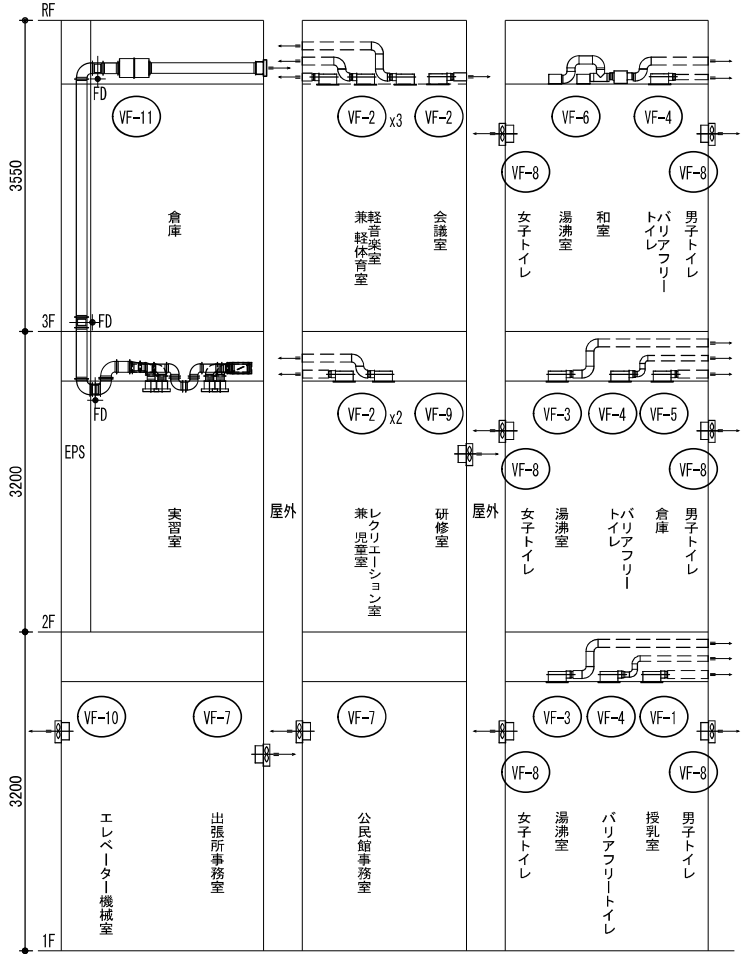
- 特記なき実線機器・ダクトを撤去とする
- 破線は既存再利用を示す(空調室内機の撤去・再取付は本工事とする)
- 切断を示す(施工状況により適宜撤去・再取付を見込む)
- R 空調機リモコン（取外しは電気工事とする）
- V 換気機器リモコン（取外しは電気工事とする）

3階平面図 1/100

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-06
	発行 年 月 日					空調換気設備 3階平面図（撤去） 縮尺 1/100	

換気設備　機器表

機器番号	機器名称	仕様	電源 φ	電源 V	電源 W	電源 起動方式	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考 (参考型番)
VF-1	天井扇	能力：羽根径230mm×パイプロ径150φ×480m3/h×50Pa	1	100	74		1	1	授乳室	VD-23ZX13-FP
		付属品：防振吊り金物、24時間換気スイッチ　他標準付属品一式								(三菱)
VF-2	天井扇	能力：羽根径230mm×パイプロ径150φ×480m3/h×50Pa	1	100	74		2	2	レクリエーション室兼児童室	VD-23ZLX13-CS
		付属品：防振吊り金物、24時間換気スイッチ　他標準付属品一式					1	3	会議室	(三菱)
							3	3	軽音楽室兼軽体育室	
VF-3	天井扇	能力：羽根径150mm×パイプロ径150φ×160m3/h×50Pa	1	100	23		2	1,2	湯沸室	VD-15ZY14
		付属品：防振吊り金物、ワイヤードスイッチ　他標準付属品一式								(三菱)
VF-4	天井扇	能力：羽根径140mm×パイプロ径100φ×130m3/h×50Pa	1	100	14		3	1,2,3	バリアフリートイレ	VD-15ZC14
		付属品：防振吊り金物、ワイヤードスイッチ　他標準付属品一式								(三菱)
VF-5	天井扇	能力：羽根径180mm×パイプロ径150φ×270m3/h×50Pa	1	100	33		1	2	倉庫	VD-18ZXP14-C
		付属品：防振吊り金物、ワイヤードスイッチ　他標準付属品一式								(三菱)
VF-6	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ	能力：羽根径180mm×パイプロ径150φ×400m3/h×50Pa	1	100	47		1	3	和室 (2)　天井内	V-20ZMVR3
		付属品：防虫網、ウェザーカバー、24時間換気スイッチ、他標準付属品一式							(湯沸室)	(三菱)
VF-7	換気扇	型式：電気シャッター式　能力：20cm×240m3/h	1	100	15.5		1	1	公民館事務室	EX-20SC4
		付属品：防虫網、ウェザーカバー、24時間換気スイッチ、サッシ加工(建築工事)、他標準付属品一式					1	1	出張所事務室	(三菱)
VF-8	換気扇	型式：電気シャッター式　能力：20cm×520m3/h	1	100	14.5		3	1,2,3	男子便所	EX-20EH9
		付属品：防虫網、ウェザーカバー、ワイヤードスイッチ、サッシ加工(建築工事)、他標準付属品一式					3	1,2,3	女子便所	(三菱)
VF-9	換気扇	型式：電気シャッター式　能力：30cm×960m3/h	1	100	40		1	2	研修室	EX-30SC4
		付属品：防虫網、ウェザーカバー、24時間換気スイッチ、サッシ加工(建築工事)、他標準付属品一式								(三菱)
VF-10	有圧換気扇	型式：低騒音形	1	100	97		1	1	エレベーター機械室	EWG-40CSA2
		能力：40cm×2250m3/h×40Pa								(三菱)
		付属品：温度スイッチ、風圧式シャッター、ウェザーカバー、他標準付属品一式								
VF-11	ストレート シロッコファン	型式：厨房用	1	100	390		1	3	倉庫 天井内	BFS-150SXA2
		能力：羽根径25cm×ダクト口径250φ×1340m3/h×200Pa								(三菱)
		付属品：防振吊り金物、24時間換気スイッチ(2F実習室取付)、他標準付属品一式								



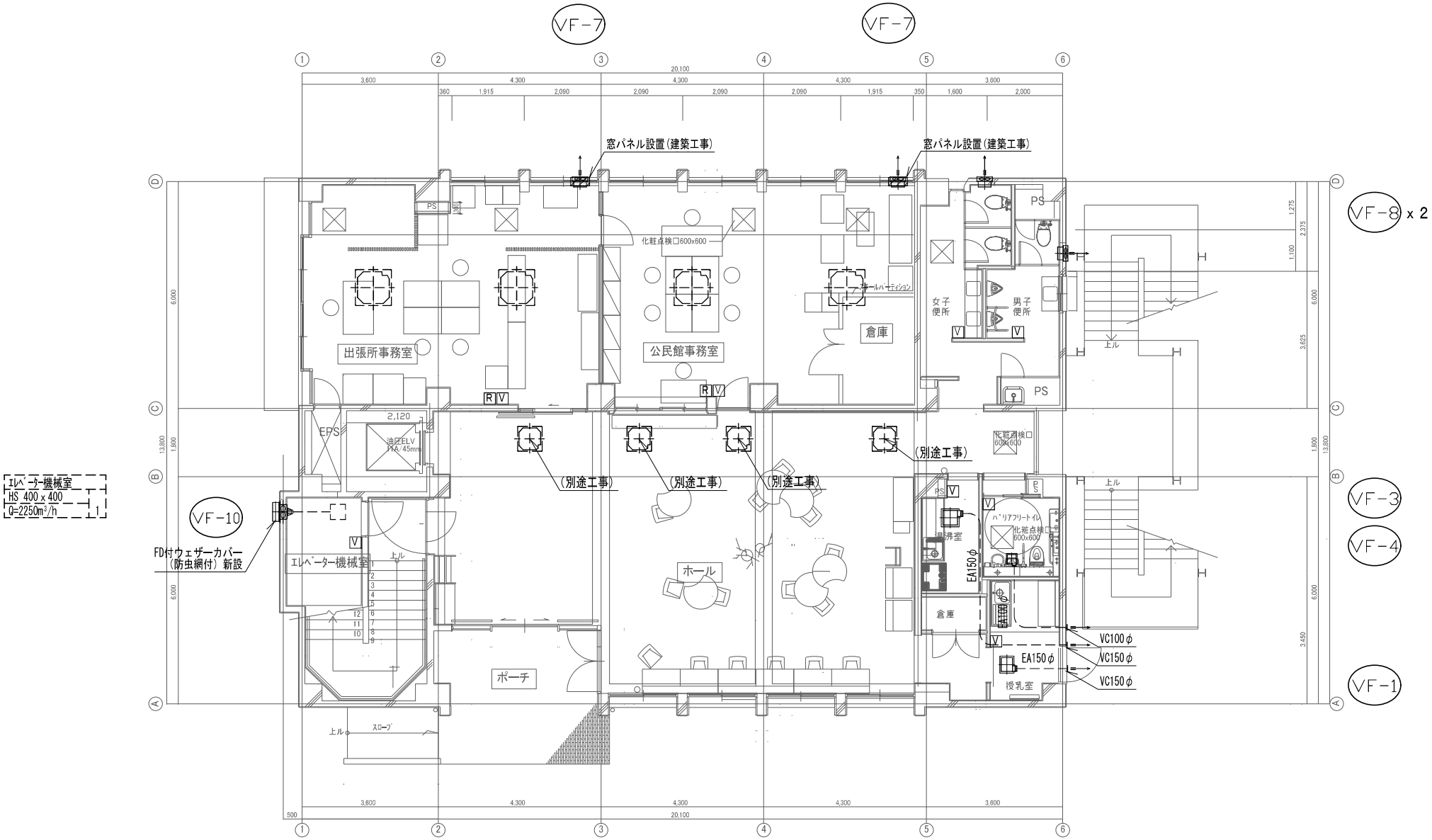
ダクト系統図　N.S.

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-07
	発行　年　月　日					空調換気設備　機器表、系統図（新設）　縮尺 －	

換 気 量 計 算 書

湯沸室…ガス→電気のため今回設計換気量を採用
他室…既存風量を採用

居室	階	室　名	換気種別	室面積 (Af) (m2)	天井高 (H) (m)	容　積 (V1) (m3)	居室人員に基づく 人員密度 (A) (人/m2)	人員 (B) (Af)/(A) (人)	一人当換気量 (C) 30 (m3/h)	必要換気量 (B)*(C) (m3/h)	施行令第20条2第2号に基づく 占有面積 N値(<=10) (Af)/(B) (m2/人)	必要換気量 =20*(Af)/N値 (m3/h)	シックハウス対策 基準法28条2に基づく 回数 (D) (回/h)	必要換気量 =(D)*(V1) (m3/h)	換気回数に基づく 回数 (E) (回/h)	必要換気量 =(E)*(V1) (m3/h)	必要換気量 (m3/h)	設計換気量 (m3/h)	ｼｯｸﾊｳｽ用 24時間運転時 設計換気量 (m3/h)	備考
○	1	公民館事務室	1	49.1	2.6	127.7	0.15	8	30	240	6.2	160	0.3	39			240	240	40	壁換気扇新設
○	1	出張所事務室	1	47.8	2.6	124.3	0.15	8	30	240	6.0	160	0.3	38			240	240	40	壁換気扇新設
	1	男子便所	3	6.6	2.35	15.5									15	233	233	480		既存480m3/h
	1	女子便所	3	10.1	2.35	23.8									15	357	357	480		既存480m3/h
	1	バリアフリートイレ	3	5.5	2.35	12.9									10	130	130	130		既存90m3/h
	1	湯沸室	3	4.5	2.35	10.5									15	158	158	160		湯沸器、コンロ共にガスから電気へ変更、既存560m3/h
○	1	授乳室	3	12.0	2.5	30.0	0.15	2	30	60	6.0	40	0.3	9			60	480	10	既存480m3/h
	1	エレベーター機械室	3	6.6	3.0	19.9									15	299	299	2,250		既存2250m3/h
○	2	実習室	1	47.4	2.6	123.3	0.30	15	30	450	3.2	300	0.3	37			1,332	1,340	40	V=40x0.93(都市ガス)x8.95(3口コンロ)x4=1331.76
○	2	レクリエーション室 兼 児童室	1	51.6	2.5	129.0	0.50	26	30	780	2.0	520	0.3	39			780	960	40	既存960m3/h
○	2	研修室	1	63.8	2.6	165.8	0.50	32	30	960	2.0	640	0.3	50			960	960	50	壁換気扇新設
	2	倉庫	3	13.2	2.6	34.4									5	172	172	240		既存240m3/h
	2	男子便所	3	6.6	2.35	15.5									15	233	233	480		既存480m3/h
	2	女子便所	3	10.1	2.35	23.8									15	357	357	480		既存480m3/h
	2	バリアフリートイレ	3	4.1	2.35	9.7									10	97	97	100		既存90m3/h
	2	湯沸室	3	4.5	2.35	10.5									15	158	158	160		湯沸器撤去
○	3	会議室	1	29.3	2.6	76.2	0.50	15	30	450	2.0	300	0.3	23			450	480	30	既存480m3/h
○	3	軽音楽室 兼 軽体育室	1	77.3	2.8	216.5	0.50	39	30	1,170	2.0	780	0.3	65			1,170	1,440	70	既存1440m3/h
	3	男子便所	3	6.6	2.35	15.5									15	233	233	480		既存480m3/h
	3	女子便所	3	10.1	2.35	23.8									15	357	357	480		既存480m3/h
	3	バリアフリートイレ	3	4.1	2.35	9.7									10	97	97	100		既存90m3/h
	3	湯沸室	3	4.5	2.35	10.5									15	158	158	160		湯沸器、コンロ共にガスから電気へ変更
○	3	和室（1）	1	22.23	2.4	53.4	0.20	5	30	150	4.5	100	0.3	17			150	240	30	天井換気扇新設
○	3	和室（2）	1	13.47	2.4	32.4	0.20	3	30	90	4.5	60	0.3	10			90			

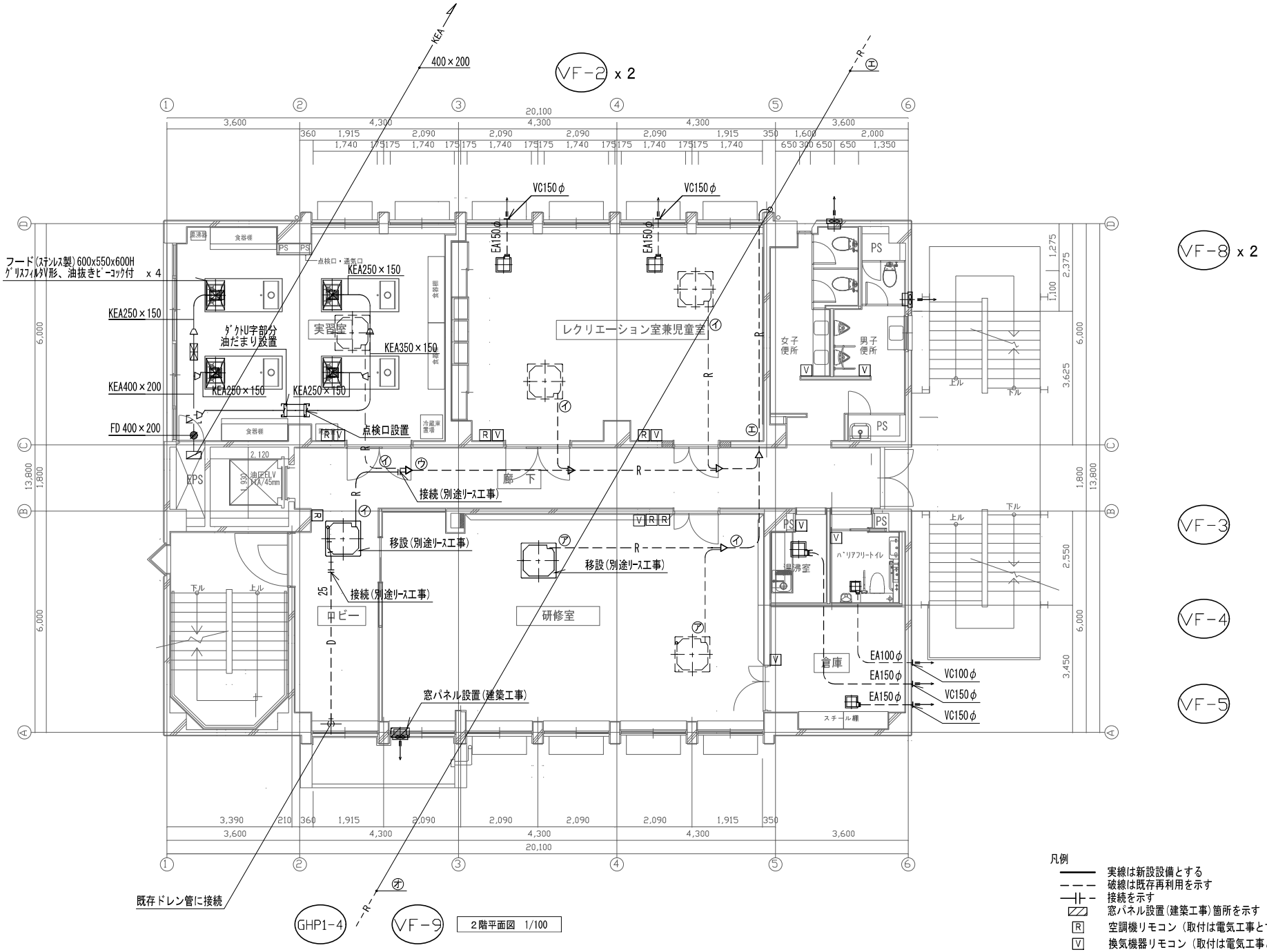


1階平面図 1/100

凡例

- 実線は新設設備とする
- 破線は既存再利用を示す
- 窓パネル設置(建築工事)箇所を示す
- R 空調機リモコン(取付は電気工事とする)
- V 換気機器リモコン(取付は電気工事とする)

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-09
	発行 年 月 日					空調換気設備 1階平面図(新設) 縮尺 1/100	



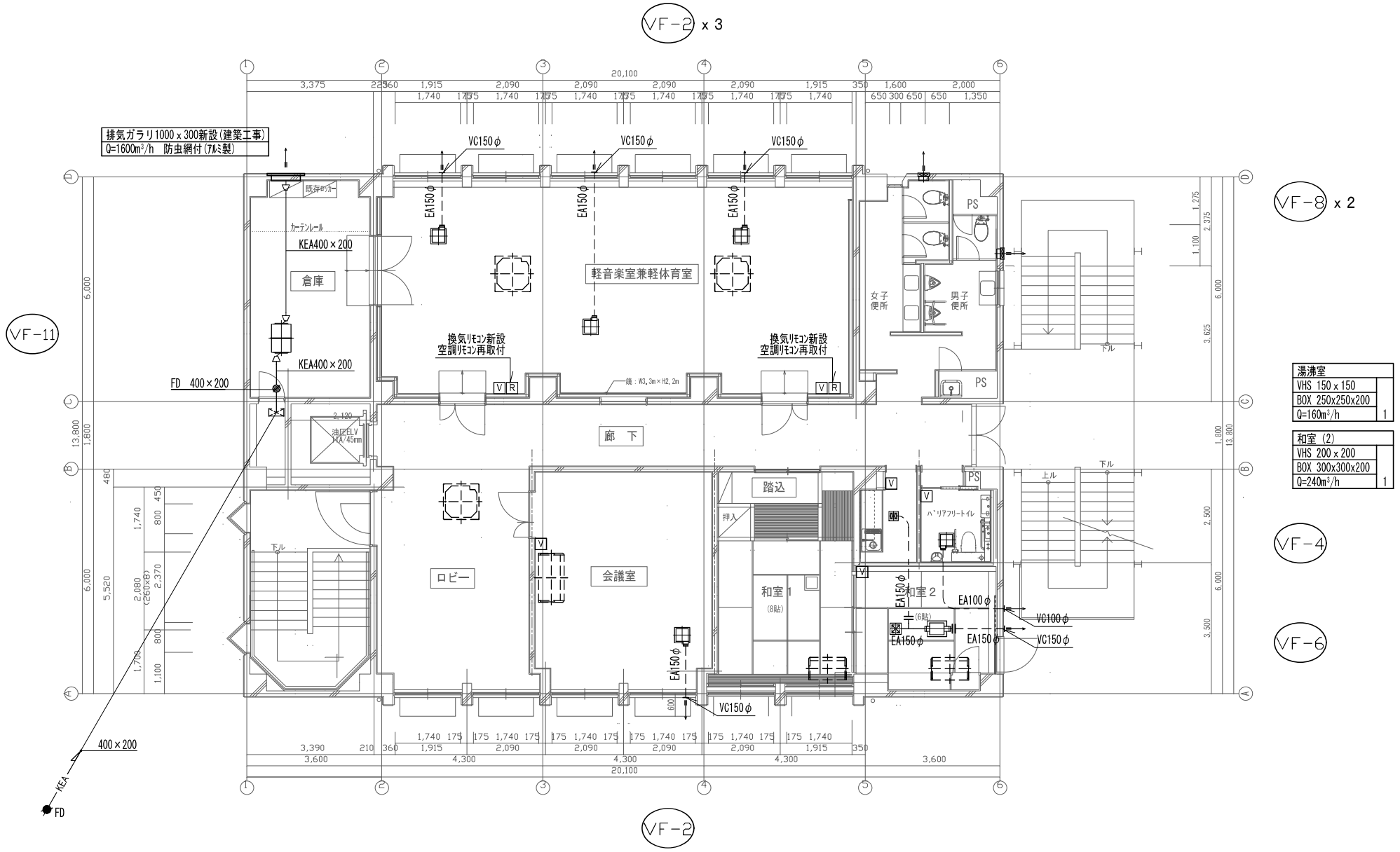
実習室	
VHS 450×200	
Q=450m³/h	1

冷媒管サイズ	
記号	ガス管×液管
㋐	12.7φ×6.4φ
㋑	15.9φ×9.5φ
㋒	22.2φ×9.5φ
㋓	28.6φ×15.9φ
㋔	31.8φ×19.1φ

2階平面図 1/100

凡例
- 実線は新設設備とする
- 破線は既存再利用を示す
- 接続を示す
- 窓パネル設置(建築工事)箇所を示す
- R 空調機リモコン（取付は電気工事とする）
- V 換気機器リモコン（取付は電気工事とする）

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-10
	発行 年 月 日					空調換気設備 2階平面図（新設） 縮尺 1/100	



3階平面図 1/100

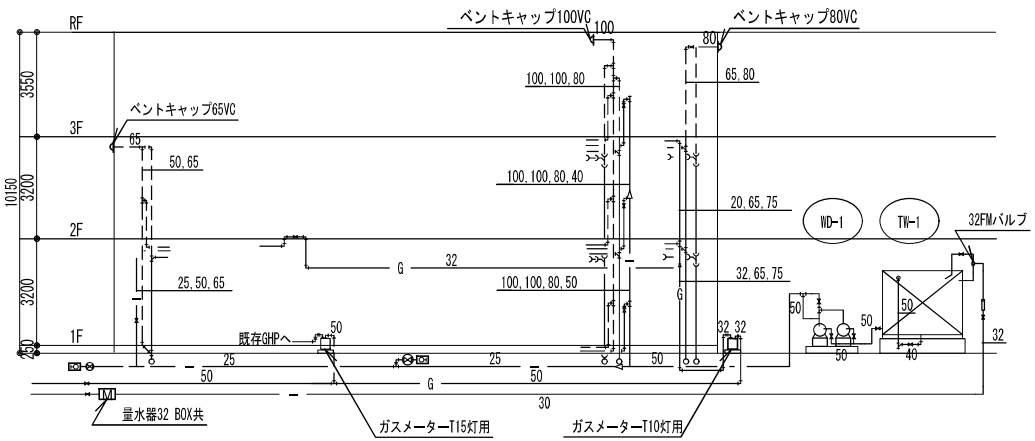
凡例

- 実線は新設設備とする
- 破線は既存再利用を示す
- 接続を示す
- R 空調機リモコン（取付は電気工事とする）
- V 換気機器リモコン（取付は電気工事とする）

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-11
	発行 年 月 日					空調換気設備 3階平面図（新設） 縮尺 1/100	

衛生設備　機器表

機器番号	機器名称	仕様	台数	設置場所		備考
				階	室名	(参考型式)
TW-1	FRP製受水槽	型式：　パネル式複合板　1500 x 2500 x 2000H	1		屋外	
		実容量：6m3				
		付属品：内外梯子、チャンネル架台				
WD-1	自動給水装置	型式：　圧力給水タンク式（屋外設置形）	1		屋外	
		40φx120L/minx2.0kg/cm2x1.5kwx2台（自動交互運転）				
		付属品：ダイヤフラムタンク、逆止弁、仕切弁、圧力計、				
		圧力スイッチ、制御盤（故障表示、満減水端子付）				
		FRP製または鋼板製カバー				
WHG-1	瞬間湯沸器	型式：　5号　元止め式	3	1～3	湯沸室	KG-405SD
		ガス消費量：10.5kW				(Rinnai)
WHG-2	瞬間湯沸器	型式：　16号	1	2	実習室	RUX-1615SFFBA
		ガス消費量：34.9kW				(Rinnai)



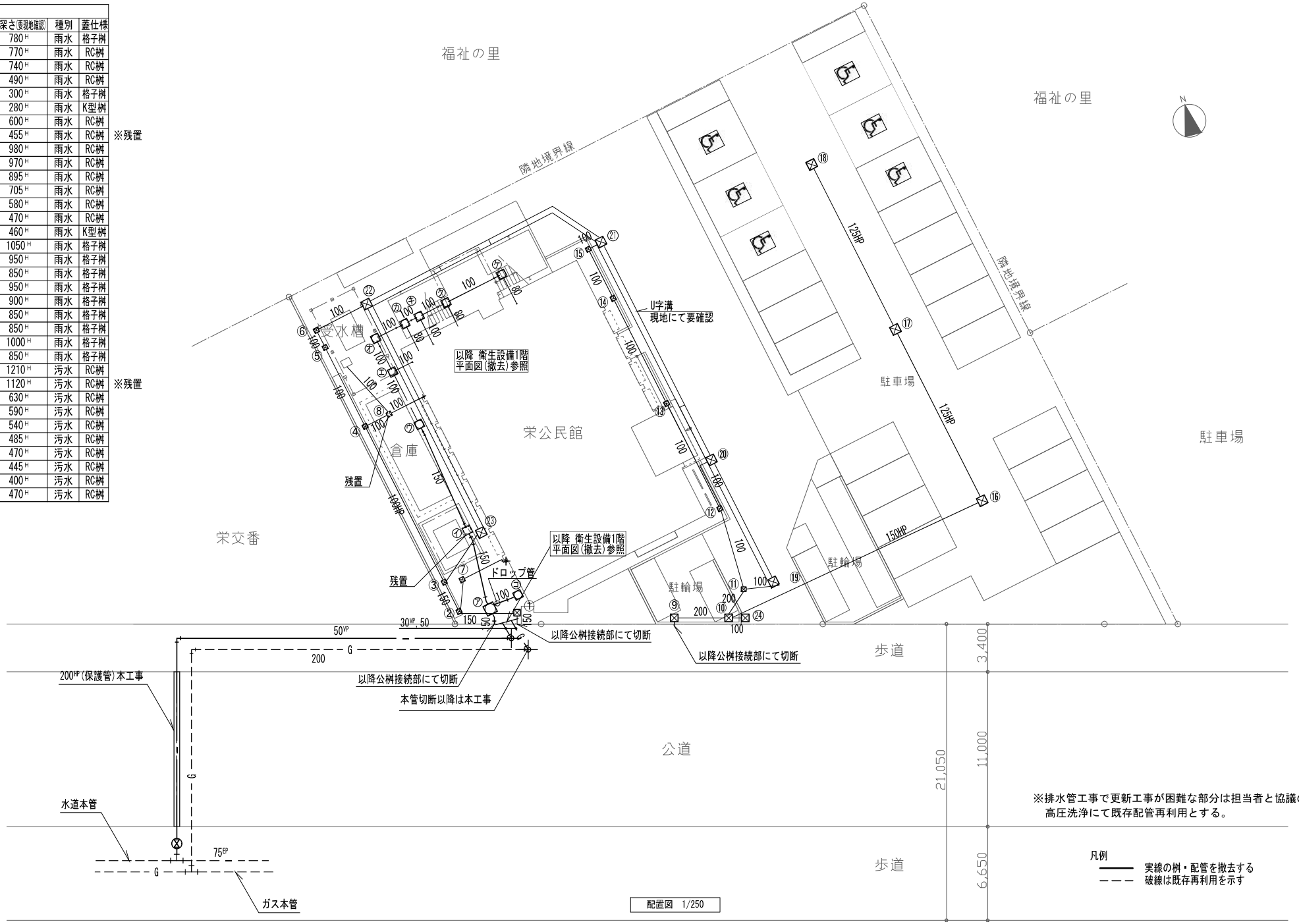
立管系統図 N.S.

衛生設備　器具表

器具名	参考型番	付属品	設置場所				計	備考
			1階	2階	3階	屋外		
和風大便器	C-375VF	タンク用金具、止水栓、洗浄管、紙巻器	1	1	1		3	
洋風大便器	CS140	隅付タンクS570B、紙巻器	2	2	2		6	
身障者用便器	C-48A	リモコンフラッシュ弁TV140B、操作弁TU141V5、洗浄管、前丸便座	1	1	1		3	
		スパッド紙巻器						
ストール小便器	U-307	フラッシュ弁T60P、スパッド床フランジ	2	2	2		6	
洗面器	L-230	立水栓T205、止水栓T4A、排水金具T6P、バックハンガー	3	3	3		9	
手洗器	L-21N	泡沫胴長横水栓T123B13V9N、排水金具T160NP	1	1	1		3	
掃除流し	SK-22A	横水栓T23AE20、排水金具T37SN、リムカバー	1	1	1		3	
化粧鏡	TS119AS3	360 x 450 x 5	3	3	3		9	
傾斜鏡	LM-480	480 x 590	1	1	1		3	
水石けん入	TS126AS	洗面器に取付	3	3	3		9	
身障者用手摺	T110SAV6		1	1	1		3	
身障者用手摺	T110SCV1		1	1	1		3	
横形自在水栓	T31-13			6			6	
自在水栓	T30AR-13		1	1	2		4	
散水栓	T27-13					2	2	
洗濯機用横水栓	TW11R	ホース接続形、緊急止水弁、逆止弁	1				1	

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-12
	発行　年　月　日					衛生設備　機器・器具表・系統図（撤去）　縮尺　－	

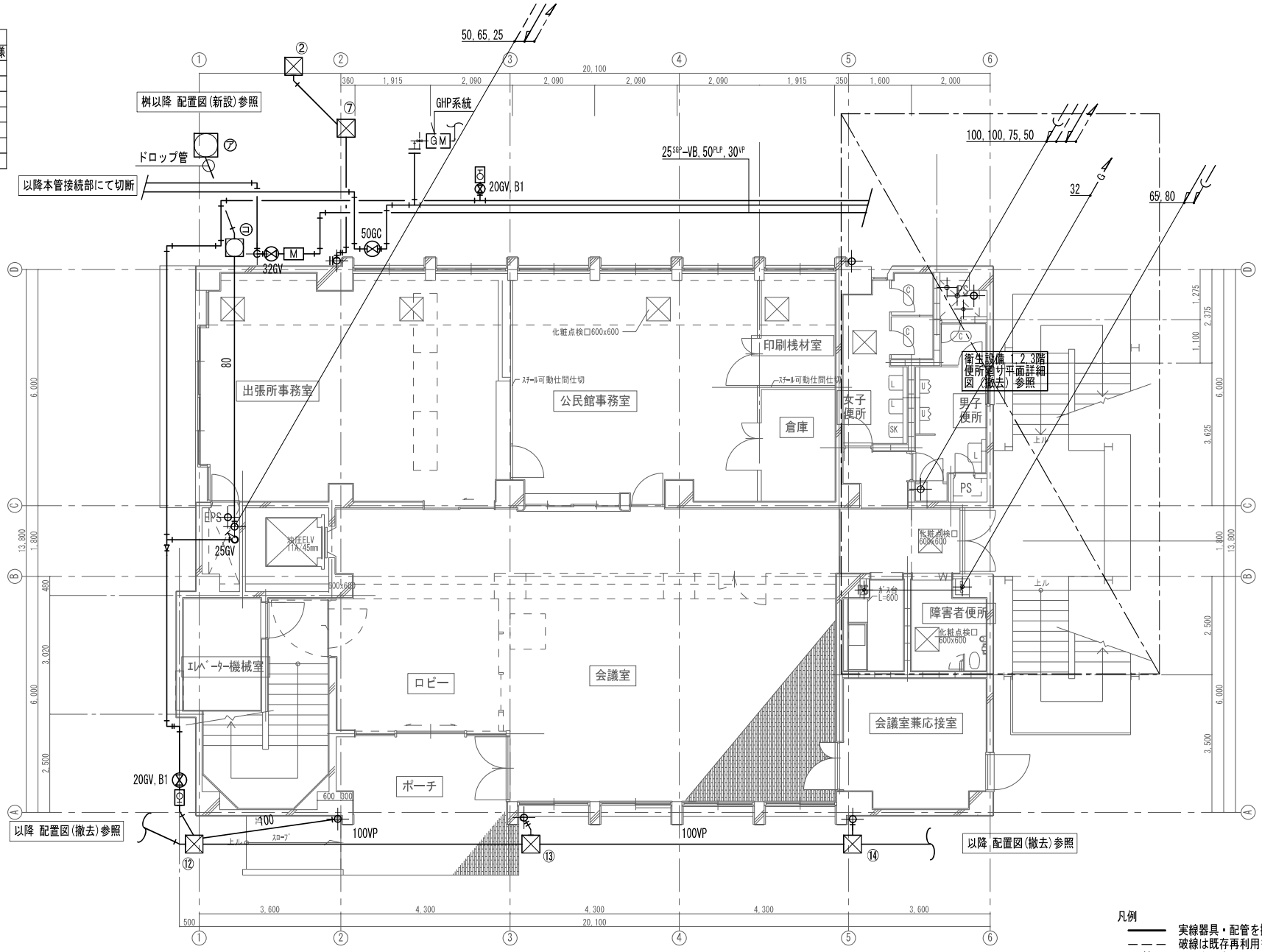
桝リスト				
記号	大きさ	桝深さ(要現地確認)	種別	蓋仕様
①	600□	780H	雨水	格子桝
②	450□	770H	雨水	RC桝
③	450□	740H	雨水	RC桝
④	360□	490H	雨水	RC桝
⑤	360□	300H	雨水	格子桝
⑥	360□	280H	雨水	K型桝
⑦	450□	600H	雨水	RC桝
⑧	360□	455H	雨水	RC桝 ※残置
⑨	600□	980H	雨水	RC桝
⑩	600□	970H	雨水	RC桝
⑪	450□	895H	雨水	RC桝
⑫	450□	705H	雨水	RC桝
⑬	360□	580H	雨水	RC桝
⑭	360□	470H	雨水	RC桝
⑮	360□	460H	雨水	K型桝
⑯	600□	1050H	雨水	格子桝
⑰	600□	950H	雨水	格子桝
⑱	600□	850H	雨水	格子桝
⑲	600□	950H	雨水	格子桝
⑳	600□	900H	雨水	格子桝
㉑	600□	850H	雨水	格子桝
㉒	600□	850H	雨水	格子桝
㉓	600□	1000H	雨水	格子桝
㉔	600□	850H	雨水	格子桝
㋐	600□	1210H	汚水	RC桝
㋑	600□	1120H	汚水	RC桝 ※残置
㋒	450□	630H	汚水	RC桝
㋓	450□	590H	汚水	RC桝
㋔	450□	540H	汚水	RC桝
㋕	450□	485H	汚水	RC桝
㋖	450□	470H	汚水	RC桝
㋗	450□	445H	汚水	RC桝
㋘	450□	400H	汚水	RC桝
㋙	450□	470H	汚水	RC桝



配置図 1/250

発注者	作成 2025.3	管理	照査	設計	担当	名称 新座市立栄公民館長寿命化改修工事	図面NO
新座市	発行 年 月 日					衛生設備 配置図（撤去） 縮尺 1/250	M-13

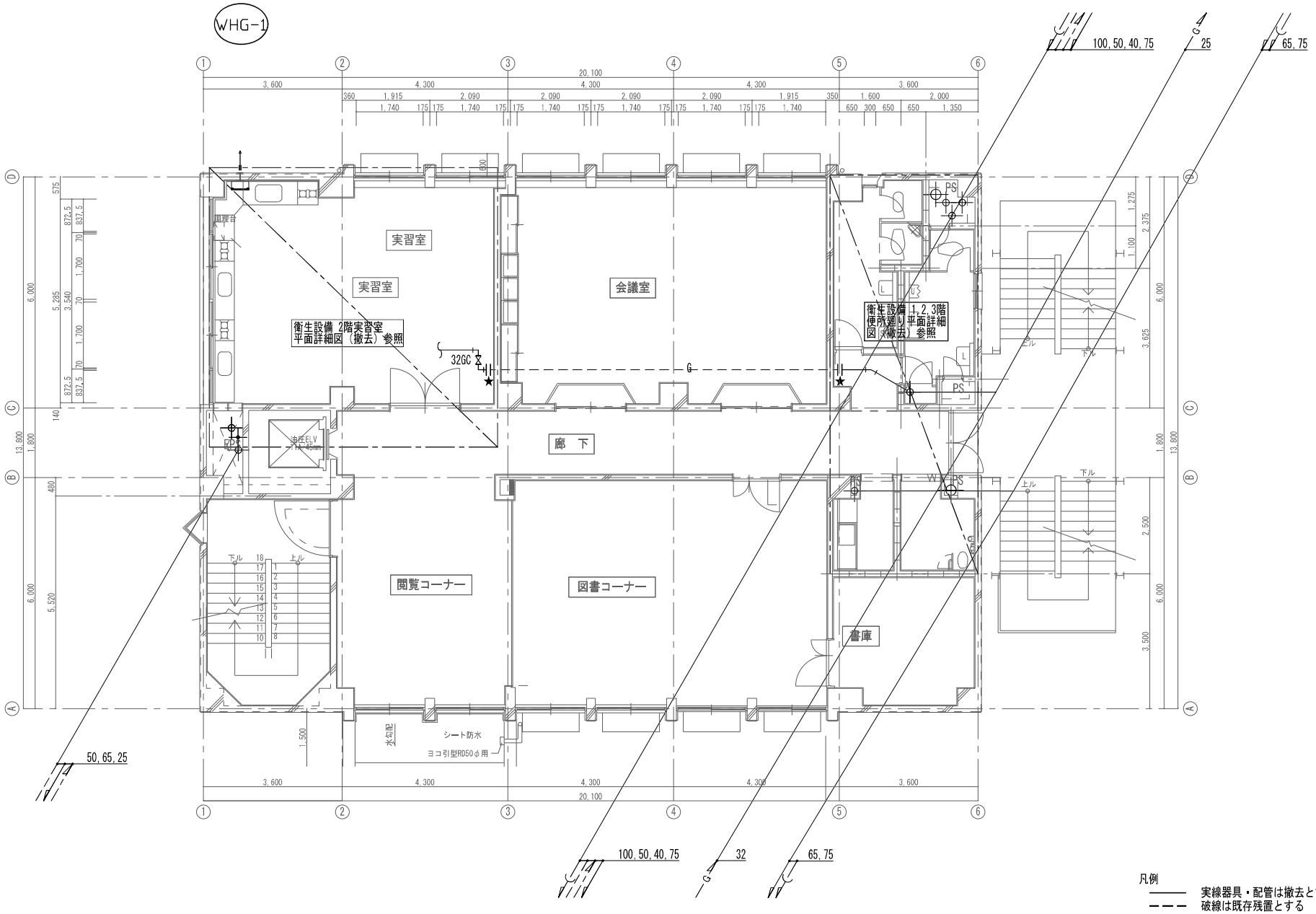
桝リスト				
記号	大きさ	桝深さ	種別	蓋仕様
②	200φ	770H	雨水	RC桝
⑦	150φ	600H	雨水	RC桝
⑫	200φ	705H	雨水	RC桝
⑬	150φ	580H	雨水	RC桝
⑭	150φ	470H	雨水	RC桝
㋐	200φ	956H	汚水	RC桝
㋑	150φ	470H	汚水	RC桝



1階平面図 1/100

凡例
- 実線器具・配管を撤去とする
- 破線は既存再利用を示す
- 切断を示す
- M 量水器（BOX共）を示す
- 埋設弁（BOX共）を示す
- 散水栓を示す

発注者	作成 2025.3	管理	照査	設計	担当	名称 新座市立栄公民館長寿命化改修工事	図面NO
新座市	発行 年 月 日					衛生設備 1階平面図（撤去） 縮尺 1/100	M-14



２階平面図　1/100

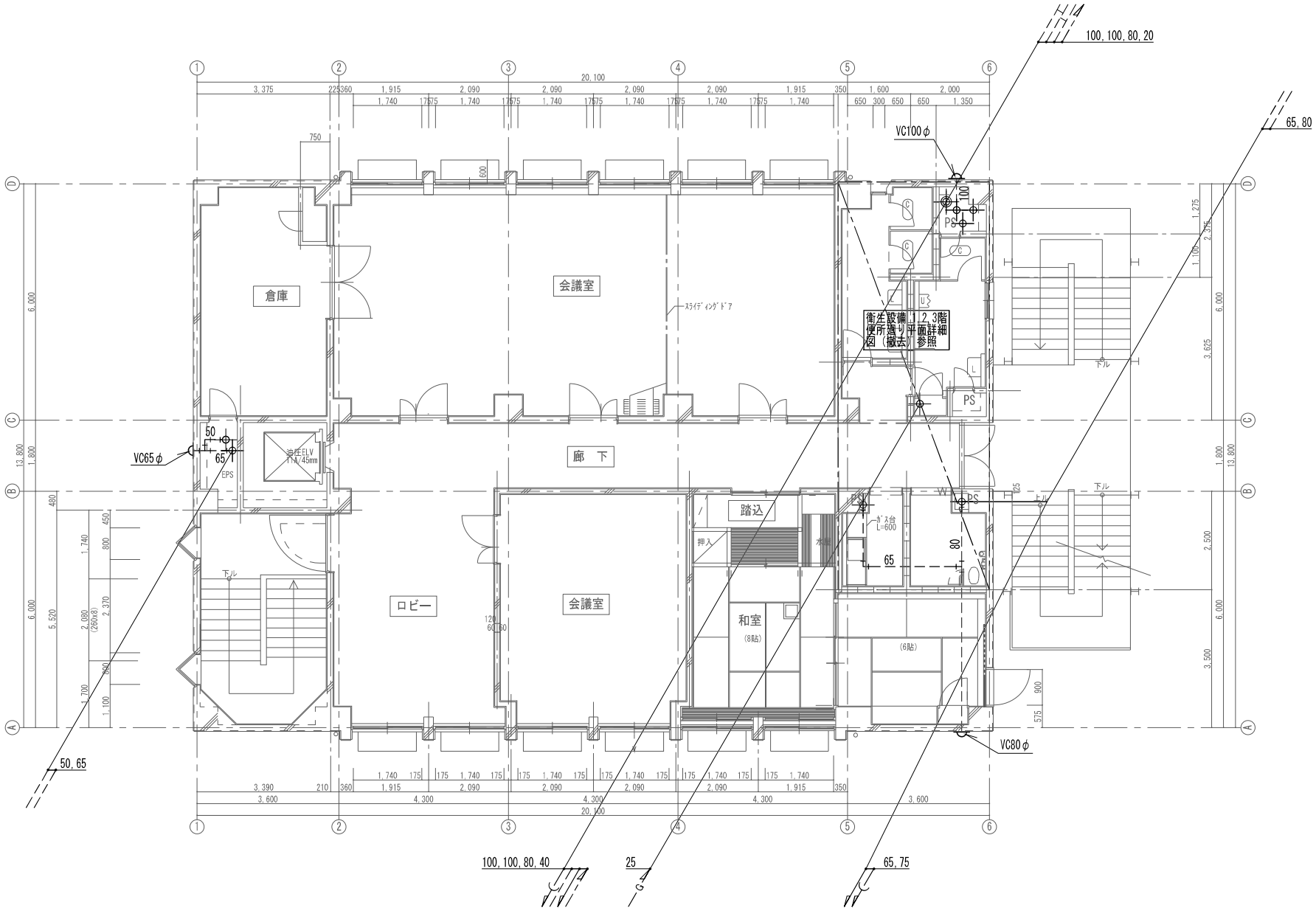
凡例

実線器具・配管は撤去とする

破線は既存残置とする

切断・プラグ止めを示す

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-15
	発行　年　月　日					衛生設備　２階平面図（撤去）　縮尺 1/100	

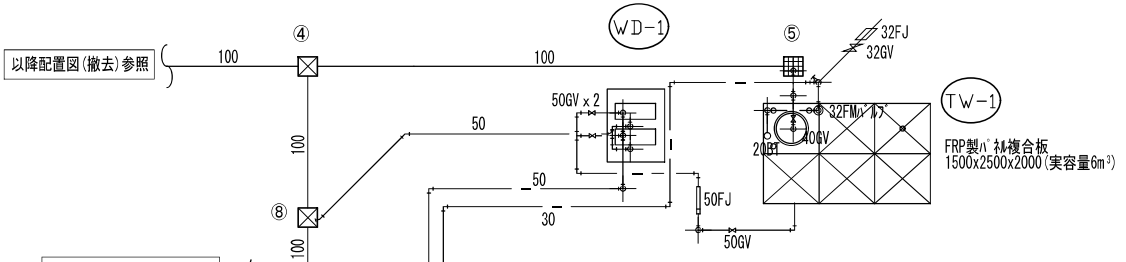


凡例

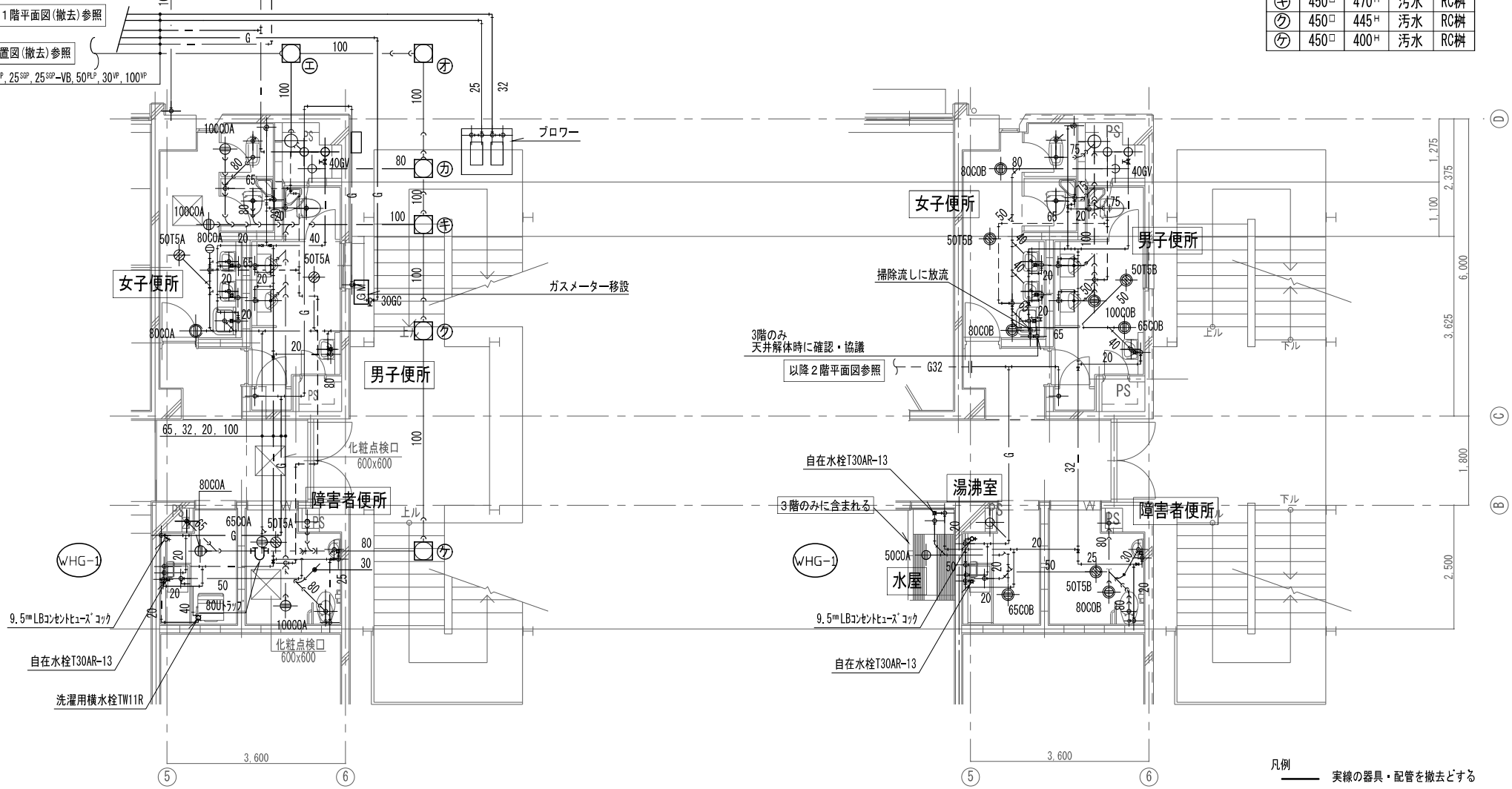
実線器具・配管を撤去とする

３階平面図　1/100

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-16
	発行　年　月　日					衛生設備　３階平面図（撤去）　縮尺 1/100	



枡リスト				
記号	大きさ	枡深さ	種別	蓋仕様
④	360□	490H	雨水	RC桝
⑤	360□	300H	雨水	格子枡
⑧	360□	455H	雨水	RC桝
㋓	450□	590H	汚水	RC桝
㋔	450□	540H	汚水	RC桝
㋕	450□	485H	汚水	RC桝
㋖	450□	470H	汚水	RC桝
㋗	450□	445H	汚水	RC桝
㋘	450□	400H	汚水	RC桝



１階便所廻り平面詳細図　1/80

２，３階便所廻り平面詳細図　1/80

凡例

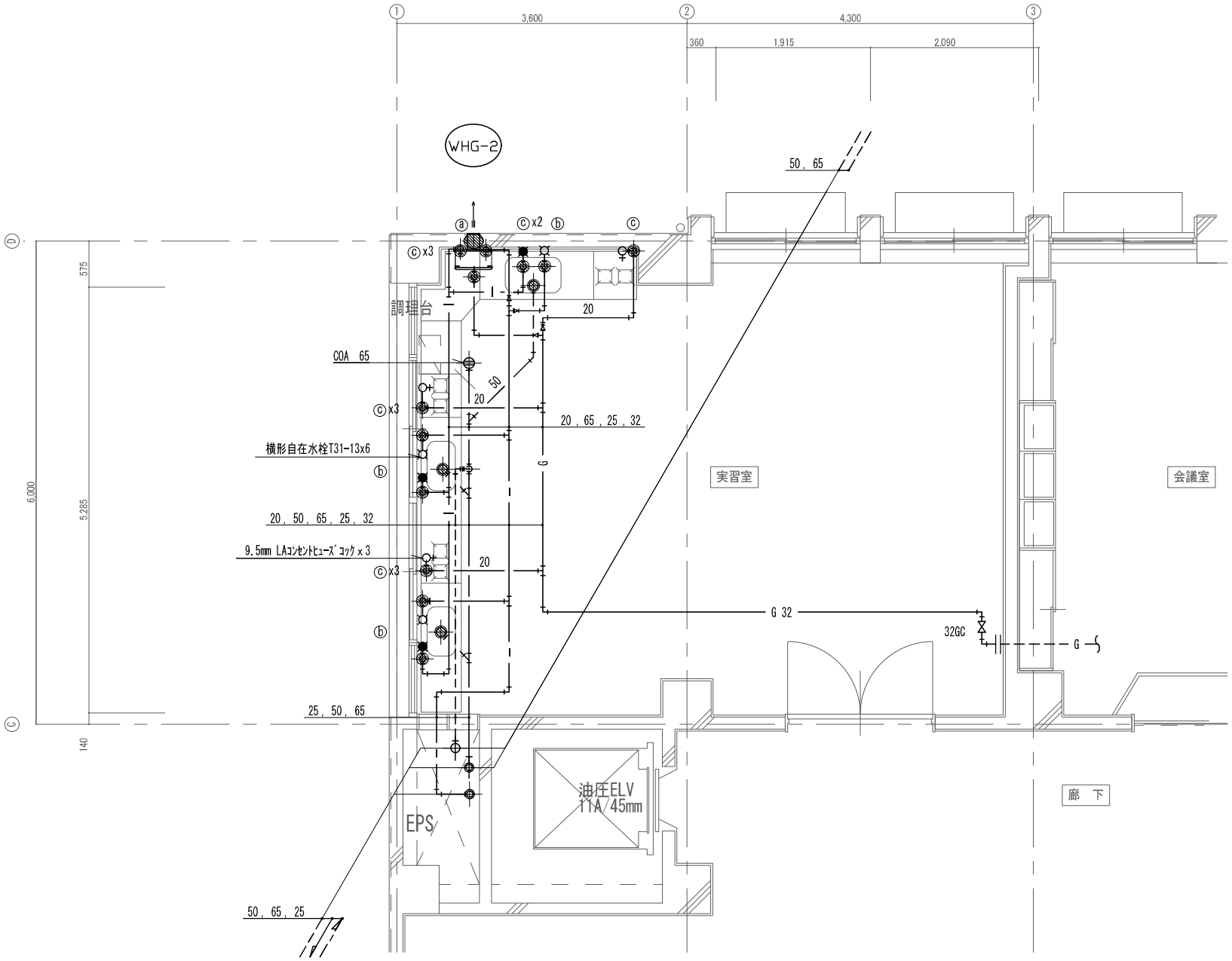
——— 実線の器具・配管を撤去どする

– – – 破線の配管は既存残置とする

—|I– 切断・プラグ止めを示す

発注者	作成 2025.3	管理	照査	設計	担当	名称 新座市立栄公民館長寿命化改修工事	図面NO
新座市	発行 年 月 日					衛生設備　１～３階便所廻り平面詳細図（撤去）　縮尺 1/80	M-17

▧はつり補修			
ⓐ	170φ×200mm	壁	再利用
ⓑ	100φ×150mm	床	穴埋め
ⓒ	50φ×150mm	床	穴埋め



凡例

——— 実線の器具・配管を撤去とする

– – – 破線の配管は既存残置とする

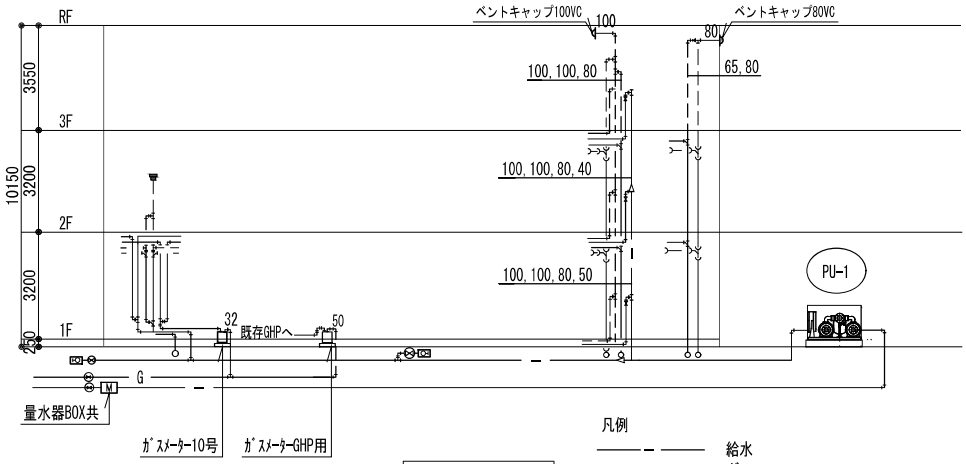
—┼– 切断・プラグ止めを示す

２階実習室平面詳細図　1/50

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-18
	発行　年　月　日					衛生設備　２階実習室平面詳細図（撤去）　縮尺 1/50	

衛生設備　機器表

機器番号	機器名称	仕様	電源 φ	電源 V	電源 kW	起動方式	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考 (参考型式)
PU-1	増圧給水ポンプユニット	型式：　直結給水ブースターポンプ	3	200	0.75		1		屋外	40PNAGM0.75A
		制御方式：推定末端圧力一定制御								(荏原製作所)
		運転方式：自動交互運転（非常時同時）								
		能力：　40φ x 180 L/min x 11 m								
		付属品：　防振架台、ﾎﾟﾝﾌﾟｶﾊﾞｰ、減圧式逆流防止器、圧力ﾀﾝｸ、								
		一体型制御盤、他標準付属品一式								
WHE-1	電気温水器	型式：　壁掛形	1	100	1.5		2	1,3	湯沸室	EWR30BNN115C0
		貯湯量：　30L					3	1,2,3	男子便所	(日本イトミック)
		付属品：　逃し弁、安全弁、ストレーナー、止水栓、					6	1,2,3	女子便所	
		他標準付属品一式								
WHG-1	瞬間湯沸器	型式：　屋内壁掛形20号、後方給排気					1	2	実習室	RUX-E2010FFB(A)
		ガス消費量：38.8kW								(Rinnai)
		付属品：　他標準付属品一式								
GT-1	グリーストラップ	型式：　SUS製グリーストラップ					1		屋外	
		許容流入量：76L/min								
		付属品：SUS製ふた、バスケット、他標準付属品一式								



立管系統図 N.S.

凡例

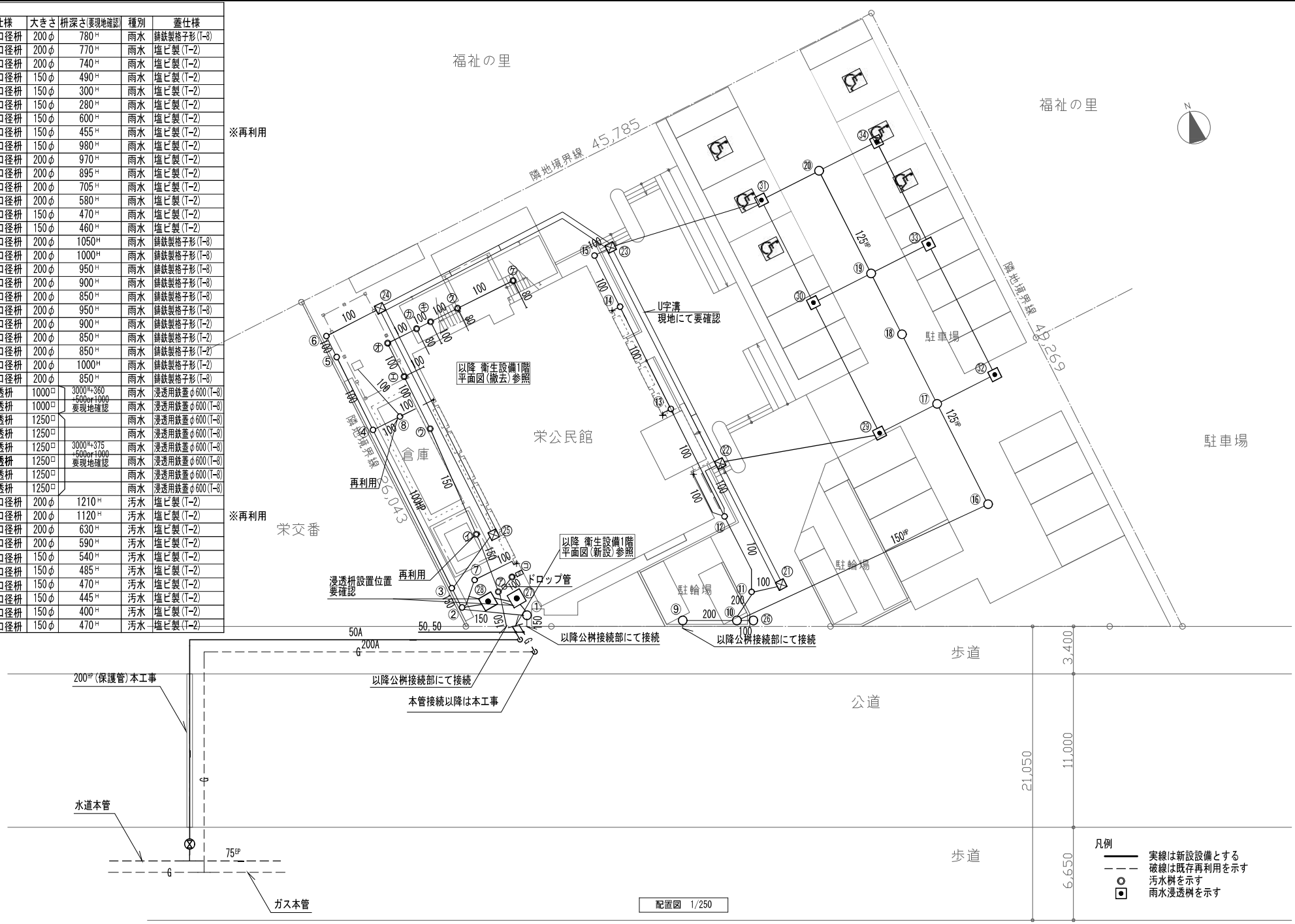
- 給水
- ガス
- 排水（汚水）
- 排水（雑排水）
- 通気

衛生設備　器具表

器具名	参考型番	付属品	数量	設置場所 階	設置場所 室名	備考
洋風大便器	CFS498BMT	床置床排水、フラッシュタンク式、温水洗浄温風乾燥便座、	3	1,2,3	男子便所	AC100V
	TCF5841AUP	２連紙巻器	6	1,2,3	女子便所	
手すり	TS134GLCY8S	L型　800×600	3	1,2,3	男子便所	
			3	1,2,3	女子便所	
小便器	UFS910W	床置床排水、節水タイプ	6	1,2,3	男子便所	AC100V
手すり	T112CU22	小便器用	3	1,2,3	男子便所	
カウンター(建築工事)	MK45	ボウル（２連）一体タイプ、ブラケット式	3	1,2,3	女子便所	
自動混合水栓	TLE26SS2A	パイプホルダーT156PH、水石けん入れ	6	1,2,3	女子便所	AC100V
カウンター(建築工事)	MK45	ボウル一体タイプ、ブラケット式	3	1,2,3	男子便所	
自動混合水栓	TLE26SS2A	パイプホルダーT156PH、水石けん入れ	3	1,2,3	男子便所	AC100V
掃除流し	SK322	横水栓	3	1,2,3	男子便所	
化粧鏡（建築工事）			3	1,2,3	男子便所	
			3	1,2,3	女子便所	
バリアフリートイレパック	UADBZ61L1A1ASD2BA	大便器（床置き式、便ふたなし）、温水洗浄便座、	1	1	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ	電気温水器消費電力:洗面器(505W)
		汚物流し、電気温水器、洗面器、自動水栓、水石けん入れ、				汚物流し(600W)
		手洗器、化粧鏡、２連紙巻器、手摺、ベビーチェア、				
		フィッティングボード				
バリアフリートイレパック	UADCZ01L1A1AND2BA	大便器（床置き式、便ふたなし）、温水洗浄便座、手洗器、	2	2,3	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ	電気温水器消費電力：洗面器(505W)
		洗面器、自動水栓、水石けん入れ、手摺、化粧鏡、２連紙巻器				
ベビーチェア	YKA15S	表示マーク、固定金具	2	2,3	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ	
幼児用補助便座	TC51		1	2	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ	
横形自在水栓	T131ALUN13H		8	2	実習室	左ハンドル、湯用
自在混合水栓	MZ-4N3		2	1,3	湯沸室	
自在水栓	T130AUN13C		1	3	和室（1）	
散水栓	T28UNH13	ホース接続形	2		屋外	

発注者	作成 2025.3	管理	照査	設計	担当	名称 新座市立栄公民館長寿命化改修工事	図面NO
新座市	発行　年　月　日					衛生設備　機器・器具表・系統図（新設） 縮尺 －	M-19

桝リスト						
記号	仕様	大きさ	桝深さ(要現地確認)		種別	蓋仕様
①	小口径桝	200φ	780H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
②	小口径桝	200φ	770H		雨水	塩ビ製(T-2)
③	小口径桝	200φ	740H		雨水	塩ビ製(T-2)
④	小口径桝	150φ	490H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑤	小口径桝	150φ	300H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑥	小口径桝	150φ	280H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑦	小口径桝	150φ	600H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑧	小口径桝	150φ	455H	※再利用	雨水	塩ビ製(T-2)
⑨	小口径桝	150φ	980H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑩	小口径桝	200φ	970H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑪	小口径桝	200φ	895H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑫	小口径桝	200φ	705H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑬	小口径桝	200φ	580H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑭	小口径桝	150φ	470H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑮	小口径桝	150φ	460H		雨水	塩ビ製(T-2)
⑯	小口径桝	200φ	1050H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
⑰	小口径桝	200φ	1000H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
⑱	小口径桝	200φ	950H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
⑲	小口径桝	200φ	900H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
⑳	小口径桝	200φ	850H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
㉑	小口径桝	200φ	950H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
㉒	小口径桝	200φ	900H		雨水	鋳鉄製格子形(T-2)
㉓	小口径桝	200φ	850H		雨水	鋳鉄製格子形(T-2)
㉔	小口径桝	200φ	850H		雨水	鋳鉄製格子形(T-2)
㉕	小口径桝	200φ	1000H		雨水	鋳鉄製格子形(T-2)
㉖	小口径桝	200φ	850H		雨水	鋳鉄製格子形(T-8)
㉗	浸透桝	1000□	3000H+360 +500or1000 要現地確認		雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉘	浸透桝	1000□			雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉙	浸透桝	1250□			雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉚	浸透桝	1250□			雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉛	浸透桝	1250□	3000H+375 +500or1000 要現地確認		雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉜	浸透桝	1250□			雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉝	浸透桝	1250□			雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㉞	浸透桝	1250□			雨水	浸透用鉄蓋φ600(T-8)
㋐	小口径桝	200φ	1210H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋑	小口径桝	200φ	1120H	※再利用	汚水	塩ビ製(T-2)
㋒	小口径桝	200φ	630H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋓	小口径桝	200φ	590H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋔	小口径桝	150φ	540H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋕	小口径桝	150φ	485H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋖	小口径桝	150φ	470H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋗	小口径桝	150φ	445H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋘	小口径桝	150φ	400H		汚水	塩ビ製(T-2)
㋙	小口径桝	150φ	470H		汚水	塩ビ製(T-2)

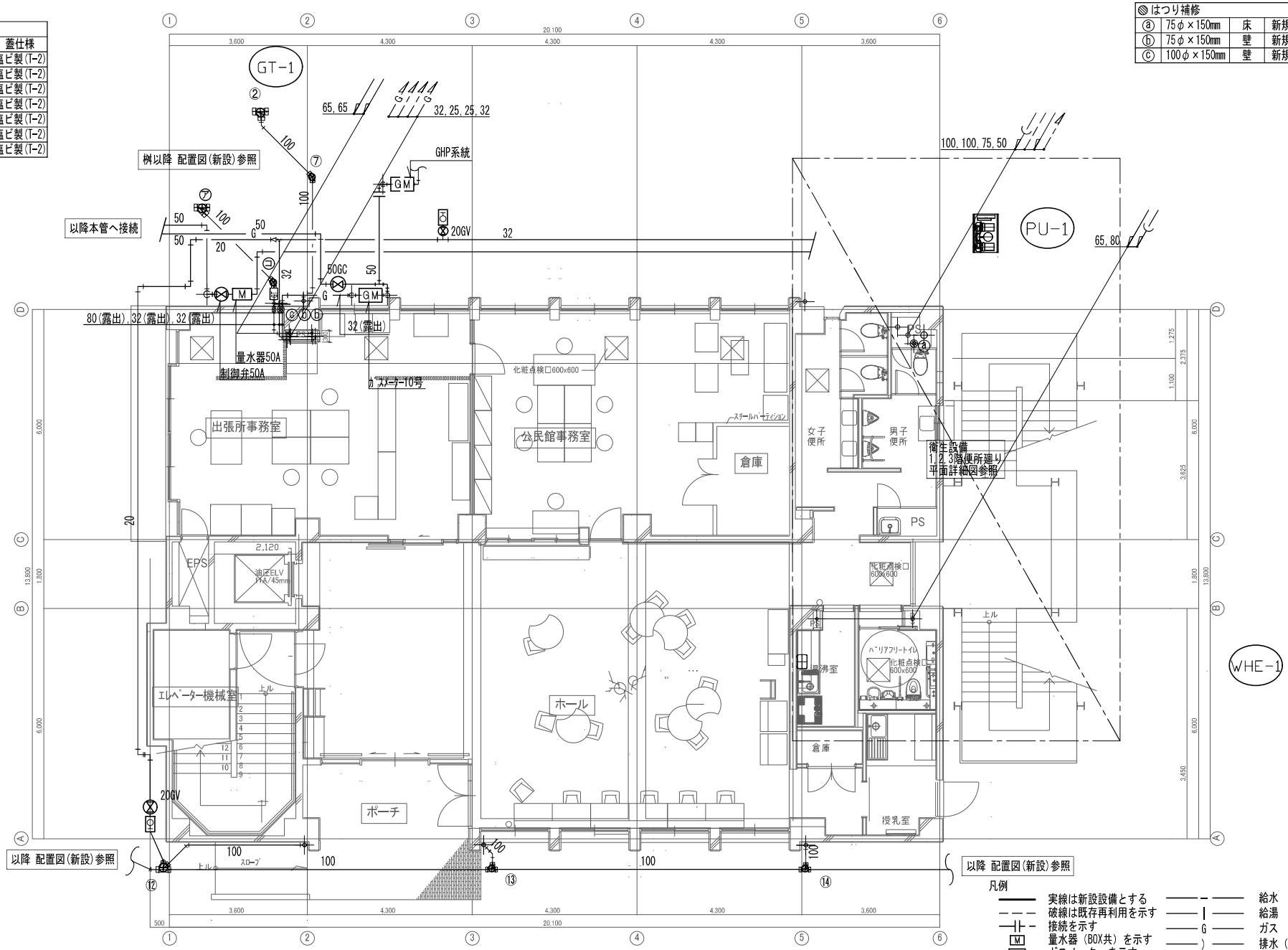


配置図 1/250

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-20
	発行 年 月 日					衛生設備 配置図(新設) 縮尺 1/250	

桝リスト					
記号	仕様	大きさ	桝深さ	種別	蓋仕様
②	小口径桝	200φ	770H	雨水	塩ビ製(T-2)
⑦	小口径桝	150φ	600H	雨水	塩ビ製(T-2)
⑫	小口径桝	200φ	705H	雨水	塩ビ製(T-2)
⑬	小口径桝	150φ	580H	雨水	塩ビ製(T-2)
⑭	小口径桝	150φ	470H	雨水	塩ビ製(T-2)
㋐	小口径桝	200φ	956H	汚水	塩ビ製(T-2)
㋑	小口径桝	150φ	470H	汚水	塩ビ製(T-2)

はつり補修			
ⓐ	75φ×150mm	床	新規開口
ⓑ	75φ×150mm	壁	新規開口
ⓒ	100φ×150mm	壁	新規開口

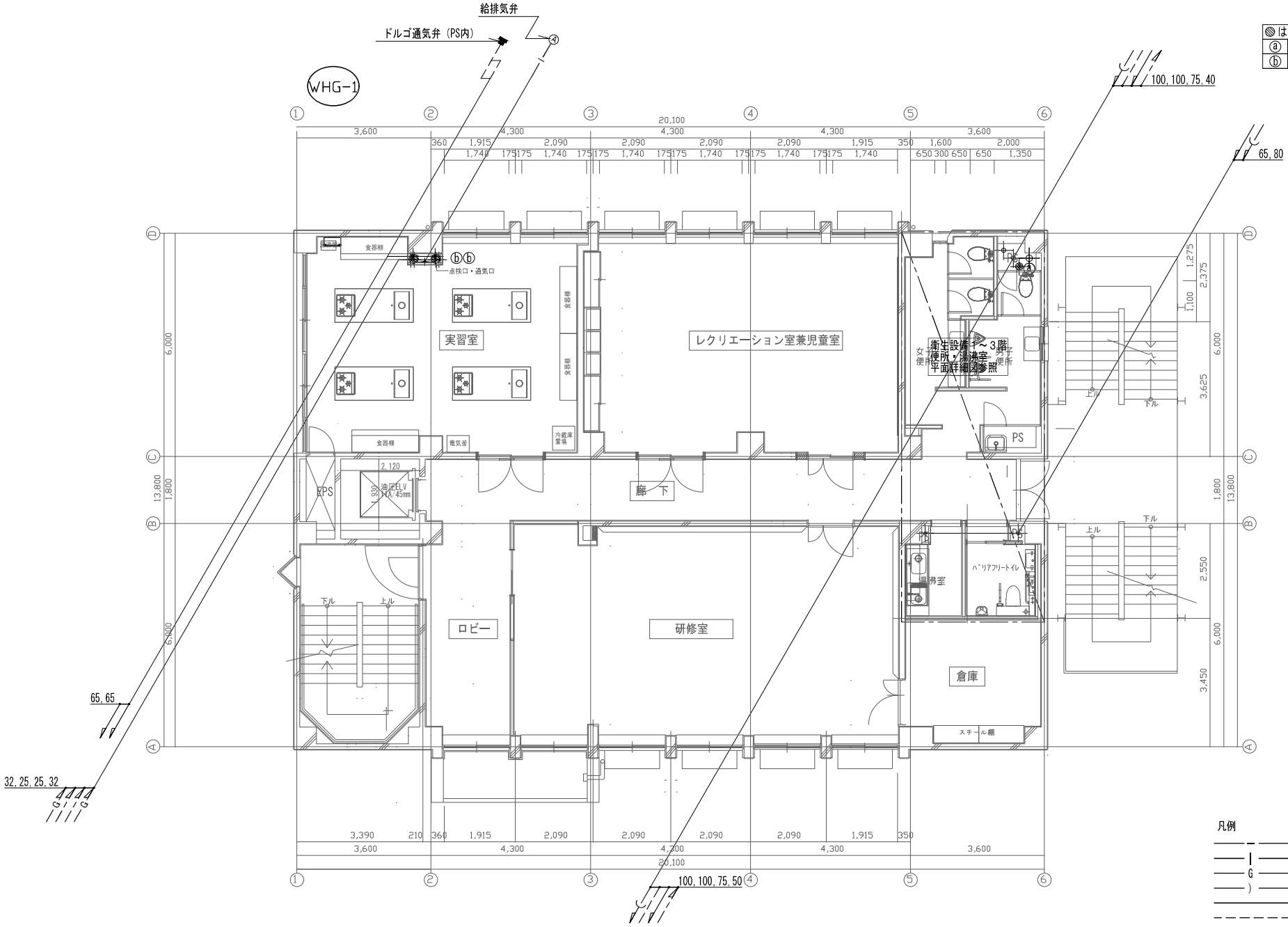


1階平面図 1/100

凡例

- 実線は新設設備とする
- 破線は既存再利用を示す
- 接続を示す
- M 量水器（BOX共）を示す
- GM ガスメーターを示す
- 埋設弁（GV,GC）を示す
- 散水栓を示す
- GT グリーストラップ
- 給水
- 給湯
- ガス
- 排水（汚水）
- 排水（雑排水）
- 通気

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-21
	発行 年 月 日					衛生設備 1階平面図（新設） 縮尺 1/100	



はつり補修			
ⓐ	75φ×150mm	床	新規開口
ⓑ	200φ×150mm	床	新規開口

凡例

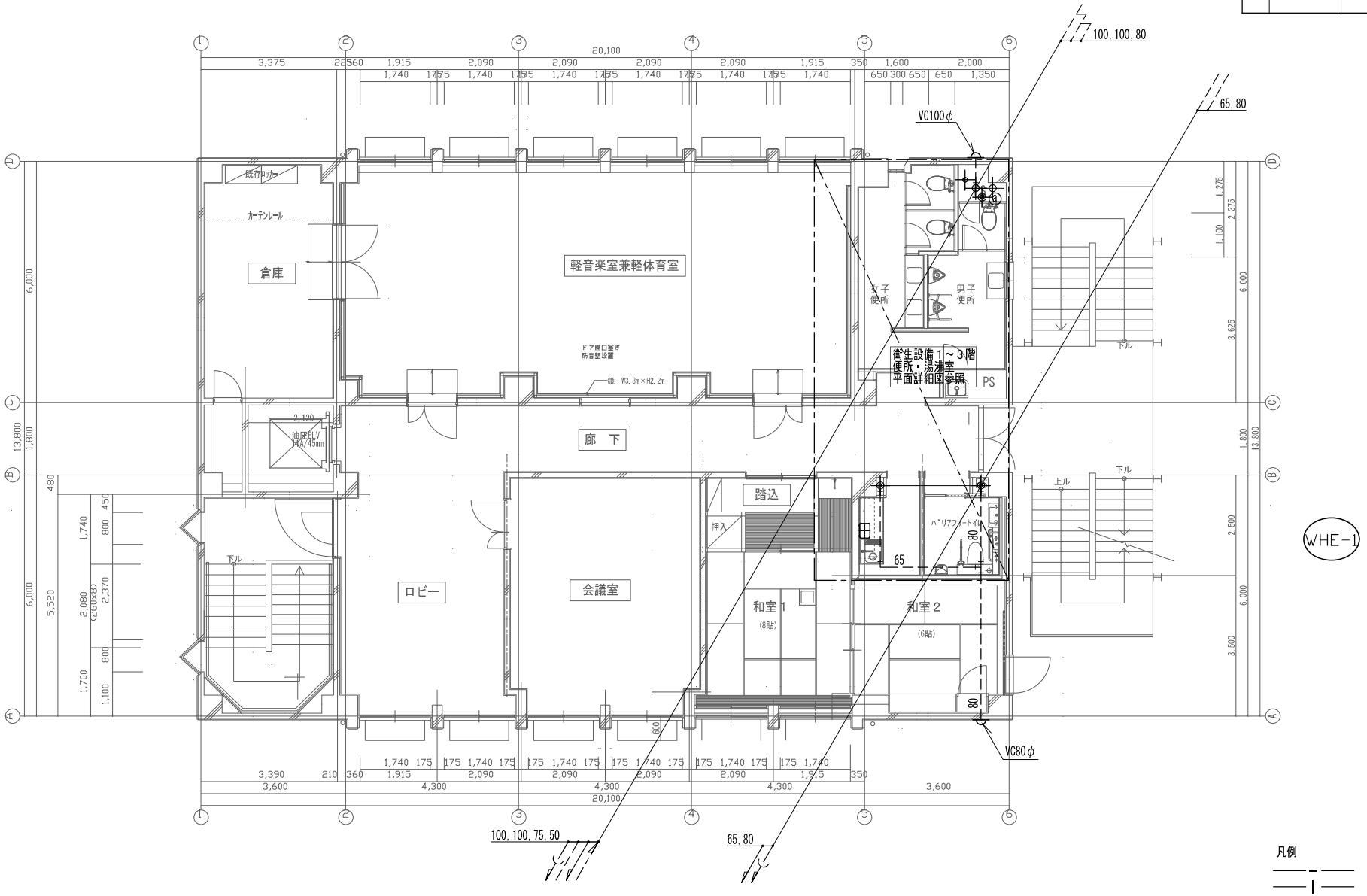
- 給水
- 給湯
- ガス
- 排水（汚水）
- 排水（雑排水）
- 通気

※実線は新設設備とする

2階平面図　1/100

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-22
	発行　年　月　日					衛生設備　2階平面図（新設）　縮尺 1/100	

はつり補修			
ⓐ	75φ×150mm	床	新規開口



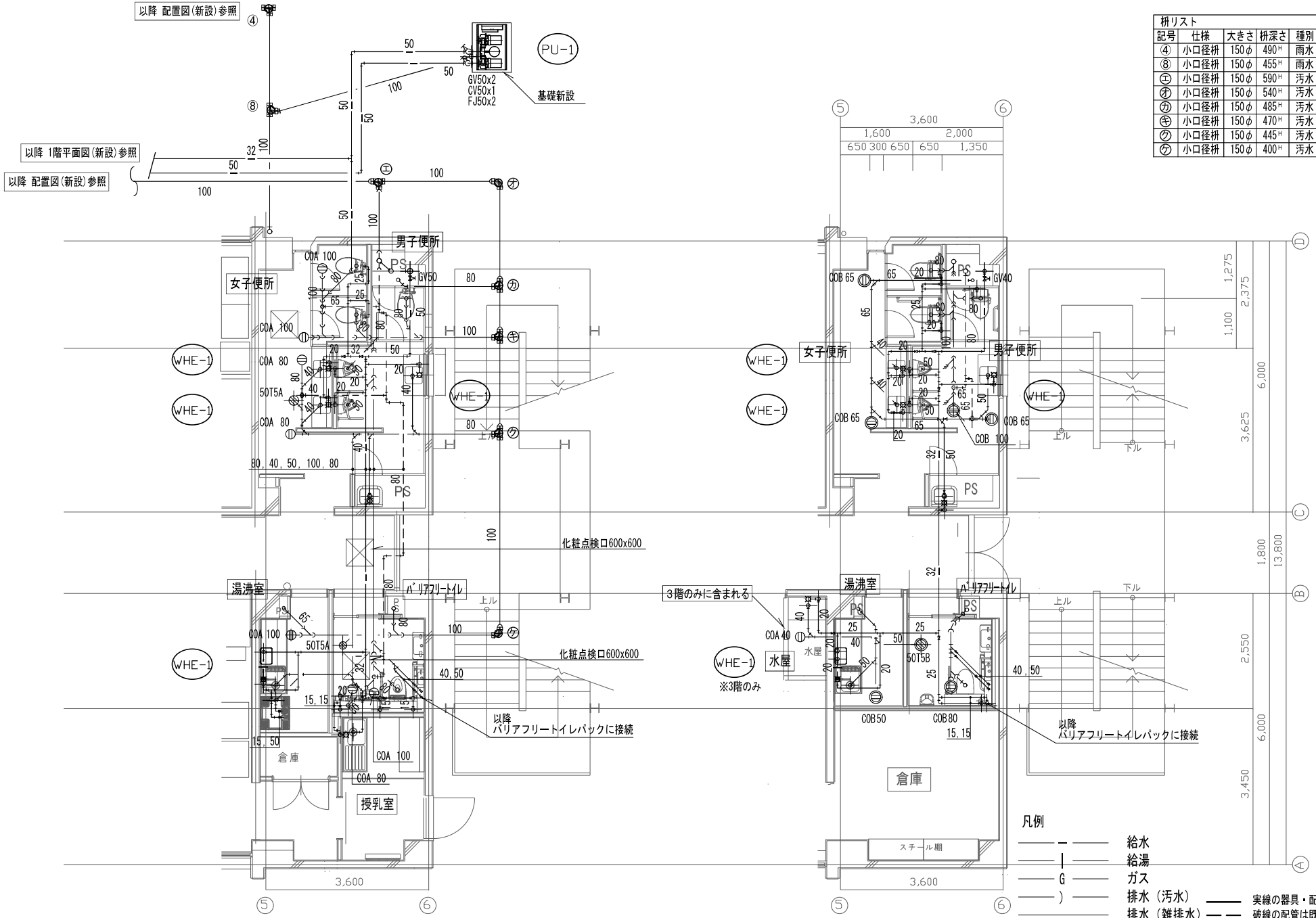
凡例

- 給水
- 給湯
- ガス
- 排水（汚水）
- 排水（雑排水）
- 通気

※実線は新設設備とする

3階平面図 1/100

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-23
	発行 年 月 日					衛生設備 3階平面図（新設） 縮尺 1/100	



1階便所廻り平面詳細図 1/80

2，3階便所廻り平面詳細図 1/80

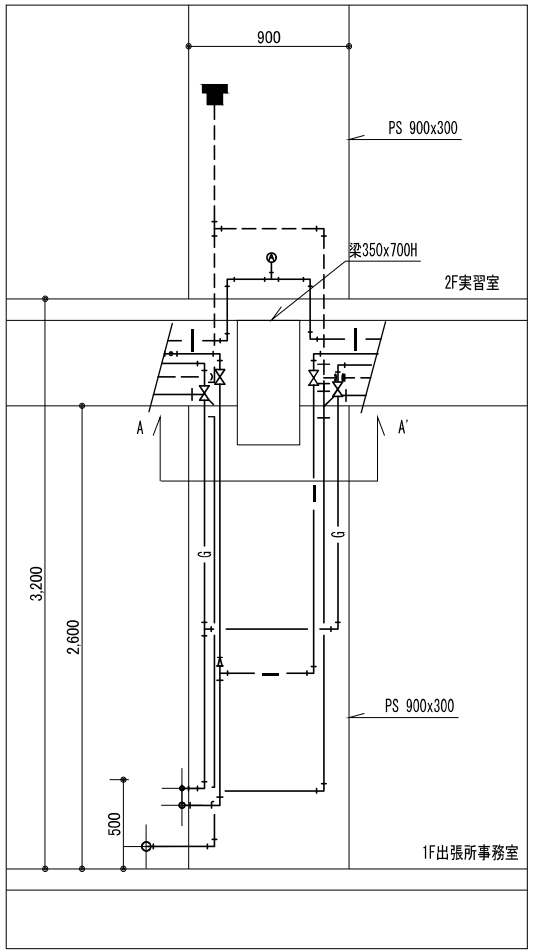
枡リスト					
記号	仕様	大きさ	枡深さ	種別	蓋仕様
④	小口径枡	150φ	490H	雨水	塩ビ製(T-2)
⑧	小口径枡	150φ	455H	雨水	塩ビ製(T-2)
エ	小口径枡	150φ	590H	汚水	塩ビ製(T-2)
オ	小口径枡	150φ	540H	汚水	塩ビ製(T-2)
カ	小口径枡	150φ	485H	汚水	塩ビ製(T-2)
キ	小口径枡	150φ	470H	汚水	塩ビ製(T-2)
ク	小口径枡	150φ	445H	汚水	塩ビ製(T-2)
ケ	小口径枡	150φ	400H	汚水	塩ビ製(T-2)

凡例

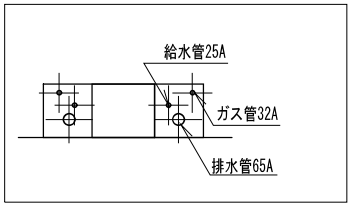
- 給水
- 給湯
- G ガス
-) 排水（汚水）
- 排水（雑排水）
- 通気

実線の器具・配管を新設とする
破線の配管は既存再利用を示す
接続を示す

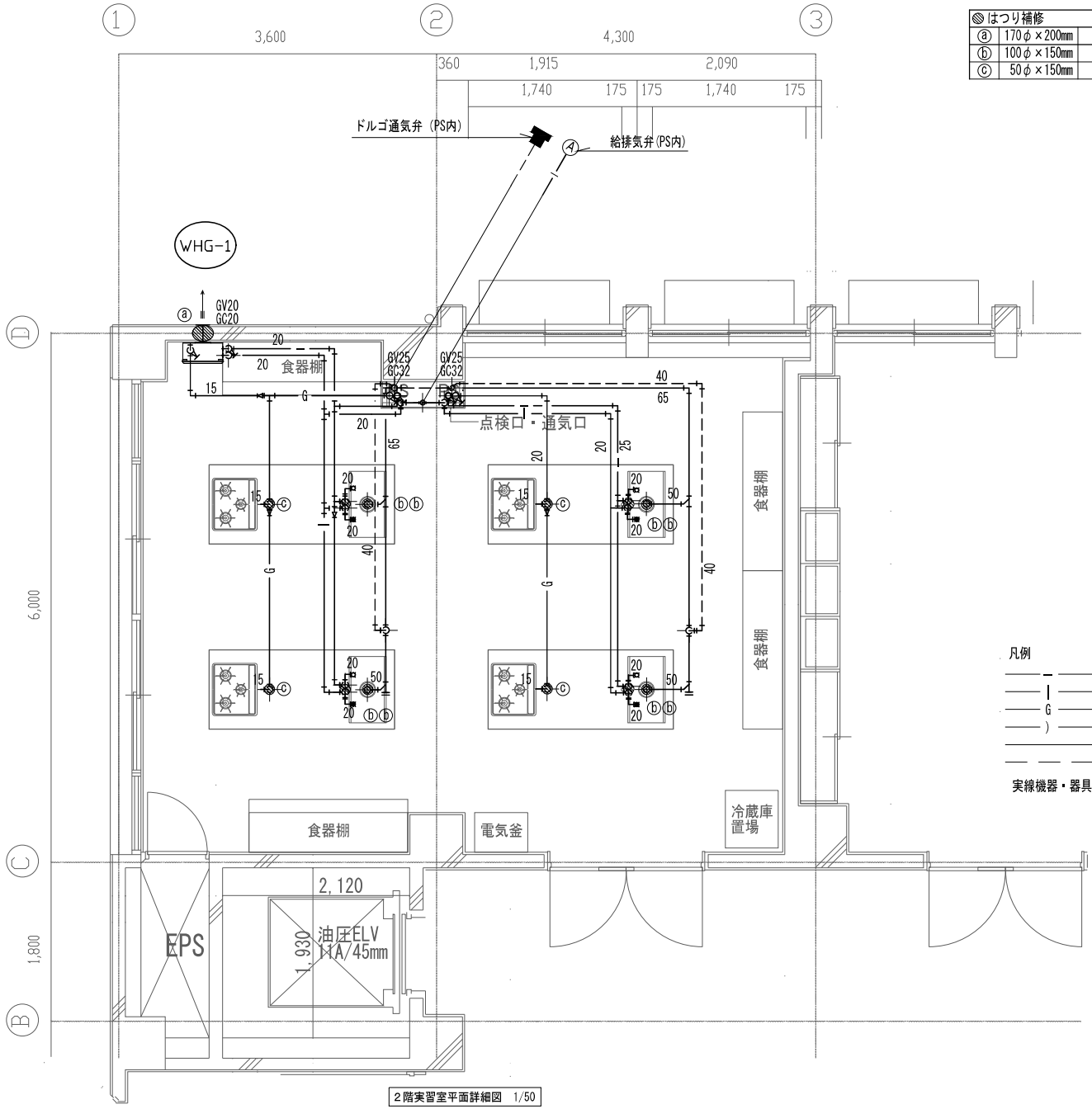
発注者	作成 2025.3	管理	照査	設計	担当	名称 新座市立栄公民館長寿命化改修工事	図面NO
新座市	発行 年 月 日					衛生設備 1～3階便所廻り平面詳細図（新設） 縮尺 1/80	M-24



PS内立面図 1/30



A-A' 図 N.S.



はつり補修			
ⓐ	170φ×200mm	壁	再利用
ⓑ	100φ×150mm	床	新規開口
ⓒ	50φ×150mm	床	新規開口

凡例

- 給水
- 給湯
- ガス
- 排水（汚水）
- 排水（雑排水）
- 通気

実線機器・器具・配管を新設とする

2階実習室平面詳細図 1/50

発注者	作成	管理	照査	設計	担当	名称	図面NO
新座市	2025.3					新座市立栄公民館長寿命化改修工事	M-25
	発行 年 月 日					衛生設備 2階実習室平面詳細図（新設） 縮尺 1/50	